

神戸大学大学院
海事科学研究科

海洋安全システム科学講座

年次報告書
2024

海洋安全システム科学講座は、海事科学研究科の改組に伴い、2017年4月に設置された教員組織である。2013年4月に設置された海洋安全システム科学系を引き継ぎ、海洋安全システム科学科の教育を主体的に担っている。

2013年4月に入学した海洋安全システム科学科の1期生は2017年3月に卒業し、同年4月から海事科学研究科海洋安全システム科学コースにその半数が進学し、2018年度に26名が修了した。2020年3月には学部4期生の31名が卒業、博士前期課程の29名（学部2期生）が修了した。2021年3月には学部5期生の31名が卒業、博士前期課程の20名（学部3期生）が修了した。2022年3月には学部6期生の39名が卒業、博士前期課程の22名（学部4期生）が修了した。2023年3月には学部7期生の40名が卒業、博士前期課程の27名（学部5期生）が修了した。2024年3月には学部8期生の41名が卒業、博士前期課程の27名（学部6期生）が修了した。2025年3月には海事科学部海洋安全システム科学科の4名および2021年4月に入学した海洋政策科学部海洋基礎科学領域の1期生36名が卒業、博士前期課程の33名（学部7期生）、博士後期課程3名が修了した。

ここに、2024年度の海洋安全システム科学講座の活動の記録をまとめ、公表する。

海洋安全システム科学講座主任
2025.3.31

0. 構成員一覧

1. 学部特別研究について（タイトルと指導教員）
2. 修士論文
3. 博士論文
4. 研究業績
5. 研究発表
6. 国際会議や研究集会の主催・共催
7. 外部資金獲得状況（代表者）
8. 外部資金獲得状況（分担者）
9. 招聘した外国人研究者
10. 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）

0. 構成員一覧

教授

井尻 暁, 大澤 輝夫, 岡村 秀雄, 蔵岡 孝治, Gomez Christopher,
笹 健児, 堀田 弘樹, 三村 治夫, 山内 知也

准教授

上田 好寛, 金崎 真聡, 谷池 晃, 林 美鶴,
Bradak-hayashi Balazs, 堀江 好文, 山地 一代

講師

影山 康夫

助教

岩田 高志, 貝野 友祐, 藤原 泰

1. 学部特別研究について（タイトルと指導教員）

水環境学

- ・ 大阪湾の底泥における船底防汚材の残留（岡村）
- ・ 非フタル酸系可塑性材 TOTM 魚類に与える毒性影響（堀江）
- ・ レスベラトロールの酸化還元特性の研究（堀田）

海洋・気象学

- ・ 複数のフローティングライダーによる洋上風況観測手法の比較・検討（大澤）
- ・ 沿岸洋上観測値とメソ気象モデル WRF による乱流強度算定手法の確立に向けた初期検討（大澤）
- ・ 現場観測データと風況シミュレーションを組み合わせた年間風向推定手法の検討（大澤）
- ・ 新潟県村上市・胎内市沖海域の風況特性の解析（大澤）
- ・ わが国の前駆物質排出量低減下におけるオキシダント濃度上昇の原因（山地）
- ・ 2014 年暖候期における気象タイプ別の降水中科学成分比の地域的特徴（山地）
- ・ 日本の地上メタン濃度変動の地域間差異要因について（山地）
- ・ NASA Atom 航空機観測にみられる北極域 BC の高度分布特性（山地）
- ・ 海洋表層混合と水温低下に対する風の時間変動特性の影響評価（藤原）
- ・ 軽量波浪モデル UMWM のソース項再検討と誤差特性の評価（藤原）
- ・ 直接数値計算による大振幅波上の気流の解析（藤原）
- ・ HF レーダによる流況データを用いた大阪湾における収束場の検出（林）
- ・ 津波による攪乱後の微細物質の輸送シミュレーション・大阪湾における予測計算（林）
- ・ 牛窓観測データを用いたランダムフォレストによる pCO₁ 推定モデルの構築（林）
- ・ 長崎丸で計測した風向・風速計に対する船体影響の定量化及び海神丸との比較（林）

海洋安全工学

- ・ 北太平洋における大型船舶の安全性評価から見たうねり・風波特性の数値的再現（笹）
- ・ 実海域におけるコンテナ荷崩れから見た画像解析によるコンテナの運動推定に関する基礎的研究（笹）

放射線・粒子ビーム科学

- ・ オキシオルトケイ酸ルテチウムシンチレータを利用したガンマ線の 1 次元イメージング実験（谷池）
- ・ ゲルマニウム酸ビスマスシンチレータを用いたガンマ線の 1 次元イメージング実験（谷池）

- ・ 固体飛跡検出器CR-39を用いたレーザー加速アルゴンイオンの計測（金崎）
- ・ 水素雰囲気中Cu-Ni/ZrO₂粉末資料に対する過剰熱計測装置の特性評価（金崎）
- ・ 高強度レーザーとクラスターターゲットの相互作用領域に対する光学イメージング（金崎）
- ・ PADC飛跡検出器に及ぼす紫外線照射効果（山内）

海洋基礎科学

- ・ 海洋生分解性高分子を用いた有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の開発（蔵岡）
- ・ 有機-無機ハイブリッドアニオン交換膜の開発（蔵岡）
- ・ 有機-無機ハイブリッド船底塗料の開発（蔵岡）
- ・ 能登半島狼煙沖海底表層堆積物中の間隙水硫酸イオン濃度異常：令和6年能登半島地震の影響の可能性（井尻）
- ・ 桧原湖湖底遺跡（桧原宿跡）の堆積物コア解析による遺跡の水没過程と湖の環境変遷の調査（井尻）
- ・ 小豆島沖海底の謎の気泡湧出現象：メタン同位体分析による発生要因の解明（井尻）
- ・ 神戸大学深江キャンパス屋上における微小隕石調査（ブラダック）
- ・ 氷地殻と地下海洋の相互作用の特徴付け（エウロパ, 木星）（ブラダック）
- ・ エウロパ表面地形における潜在的な氷火山の特性評価（ブラダック）
- ・ バイオロギング手法を用いたミシシippアカガメ(*Trachemys scripta elegans*)の日光浴と活動時間の関係についての研究（岩田）
- ・ アイスランド北部のシロナガスクジラの潜水行動に関する研究（岩田）
- ・ ザトウクジラへの衛星タグ装着位置がデータ取得率におよぼす影響の検証（岩田）
- ・ 海面水温データへの自己回帰モデルの適用（貝野）
- ・ 能登半島北部のクラックによる地すべり危険予測マップの作成と豪雨による斜面崩壊の解析（ゴメス）

2. 修士論文（タイトルと指導教員）

水環境学

- ・ 紫外線照射による天然抗酸化剤カフェイン酸の抗酸化活性の変化（堀田）
- ・ 海水を浮遊する人工粒子の挙動（岡村）
- ・ 抗てんかん薬フェニトインの曝露によって誘発されるニホンメダカの繁殖能力低下・攻撃性上昇の原因解明（堀江）
- ・ 深江地区沿岸域で採取された雨水中マイクロプラスチックの実態（堀江）

海洋・気象学

- ・ 暖候期の北極圏ブラックカーボン濃度時空間変動に対するバイオマスバーニングの影響（山地）
- ・ 瀬戸内海における pCO₂ の時空間変動と CO₂ 収支の推定（林）
- ・ 山形県酒田沿岸における下層風速極大発生要因の解明（大澤）
- ・ WRF を用いた MCP 法に基づく短期間現場観測値からの年間風況推定（大澤）

- ・ 凍結乱流仮説を適用した鉛直ライダーによる乱流強度測定（大澤）

海洋安全工学

- ・ ランキンパネル法による transom stern を持つ低速肥大船周りの波動場の計算について（笹）
- ・ 北太平洋における荒天航海時の船舶の安全航行およびうねりの伝播特性（笹）

放射線・粒子ビーム科学

- ・ 極低温その場観察型赤外線分光による PADC 中潜在飛跡形成過程の研究（山内）
- ・ ガンマ線照射による PADC 検出器の特性変化（山内）
- ・ 高強度レーザーとクライオターゲットの相互作用で発生する第二高調波のイメージング（金崎）
- ・ 昇温脱離分析法を用いた Cu, Ni, Zr 試料中にトラップされた He-3 の検出（金崎）
- ・ 高強度レーザーと水素クラスターターゲットの相互作用におけるレーザープレパルスが陽子線加速に及ぼす影響（金崎）
- ・ 固体飛跡検出器を用いたレーザー加速イオンの計測（金崎）
- ・ 高エネルギーガンマ線イメージングにおけるコリメータシステムの S/N 比向上に関する研究（谷池）

海洋基礎科学

- ・ ポリ塩化ビニリデン共重合体を用いた有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製とその特性評価（蔵岡）
- ・ 大気圧プラズマ化学蒸着法による有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製と膜特性評価（蔵岡）
- ・ 第四級アンモニウム塩を用いた有機-無機ハイブリッド二酸化炭素分離膜の作製とその特性評価（蔵岡）
- ・ Moore-Gibson-Thompson 型熱粘弾性平板方程式系の安定性解析と解の減衰構造（上田）
- ・ 南海トラフ海底深部における炭化水素ガスの動態（井尻）
- ・ 琉球海溝北部海底泥火山群における海底深部流体の供給（井尻）
- ・ 北部琉球海溝海底泥火山群からの溶存有機態炭素の放出（井尻）
- ・ バイオロギングとモンテカルロ法を用いた淡水性カメ類のナビゲーションに関する研究（岩田）
- ・ 飼育されていたジンベエザメの野外放流後の詳細な遊泳行動（岩田）
- ・ アジアゾウにおける採食エンリッチメントに関する研究（岩田）
- ・ カナダ・セントローレンス湾へ来遊するザトウクジラにおける採餌行動の日周変動（岩田）
- ・ 複合洪水マルチハザードマップの提案（ゴメス）
- ・ 河川氾濫シミュレーションによる河川流木の発生及び堆積の予測（ゴメス）
- ・ インドネシアのアニェールにおける現地調査と GIS 解析による津波災害時の避難リスク評価（ゴメス）
- ・ 軽石堆積物が土砂移動現象に与える影響（ゴメス）

3. 博士論文（タイトルと指導教員）

- Co-occurrence of microplastics and microparticles containing heavy metals in sea-surface microlayer in Osaka Bay, Japan (岡村)
- アミノエチルチオコハク酸の髪質改善作用の実証とそのメカニズムの解明 (堀田)
- ムコン酸の高効率合成反応法の確立とそれを原料とする新規アミノ酸化合物の毛髪化粧品応用の研究 (堀田)

4. 研究業績

水環境学

(岡村)

- 楠 将史, 吉田明輝, 速水健斗, 今吾一, 中坪良平, 二村綾美, 大下佳恵, 高石豊, 岡村秀雄 (2025) 船舶排ガス中に含まれる PM の主要成分について -一般海域における船舶燃料油硫黄分規制による燃料転換前後の実船における排ガスの変化. マリンエンジニアリング. 60 (2): 185-191
- Fukushi,K., Tsujimoto,J., Hotta,H., Okamura,H., Inui,H. (2025) Simultaneous Quantification of Bromide, Iodide, Nitrite, and Nitrate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis. Salt and Seawater Science & Technology, 5: 57-65.
- Zhou,M., Osaka,I., Hashimoto,K., Yap,C.K., Emmanouil,C., Nakano,T., Okamura,H. (2024) Co-occurrence of microplastics and microparticles containing Cu and Zn and other heavy metals in sea-surface microlayer in Osaka Bay, Japan. Journal of Hazardous Materials. 480, 136085. DOI:10.1016/j.jhazmat.2024.136085
- Hino,S., Masui,A., Okamura,H., Kawasaki,N., Yamano,N., and Nakayama,A. (2024) Porphyrin as photosensitizers for controlling marine biodegradation of polymer composites. Biomacromolecules. 25 (10): 6395-6402. DOI:10.1021/acs.biomac.4c00219
- Yap, C.K., Hew,T.Y.A, Nulit,R., Syazwan,W.M., Okamura,H., Horie,Y., Ong,M.C., Ismail,M.S, Kumar,K., Zakaly,H.M.H, Cheng,W.H. (2024) Copper in Commercial Marine Fish: From Biomonitoring to the ESG (Environment, Social, and Governance) Method. Pollutants 4(1), 117-135; DOI: 10.3390/pollutants4010008
- Fukushi,K., Tsujimoto,J., Hotta,H., Okamura,H., Inui,H. (2024) Quantifying Inorganic Phosphate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachophoresis. Salt and Seawater Science & Technology, 4: 15-19. 日本海水学会編集委員会最優秀論文賞授賞
- 周密, 岡村秀雄 (2024)大阪湾の海表面マイクロ層の重金属を含む微粒子. 日本マリンエンジニアリング学会誌 59 (5): 548-552. DOI:org/10.5988/jime.59.548
- 岡村秀雄 (2024) 第6章 シブトリン, ジウロン, トラロピリルの汚染実態と生態影響 (p.119-140), 第8章 海に浮遊する人工微粒子 -マイクロプラスチックである防汚塗料粒子- (p.154-171). e-水産学シリーズ7 「船舶や漁網に使用されている防汚剤の変遷と生物影響」. ISBN 9784769917083 恒星社厚生閣

(堀田)

- Keiichi Fukushi, Jun-Ichi Tsujimoto, Hiroki Hotta, Hideo Okamura, Hideyuki Inui, Simultaneous Quantification of Bromide, Iodide, Nitrite, and Nitrate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis, *Salt and Seawater Science & Technology*, 2025, 5, 57–65. DOI:10.11457/ssst.5.0_57
- Hiroki Hotta, Chemical analysis of human hair, *Analytical Sciences*, 2025, 40, 1217–1218. 10.1007/s44211-024-00595-7
- Kohtaro Katayama, Hiroki Hotta, Yoshio Tsujino, Efficient Synthesis of cis,cis-Muconic Acid by Catechol Oxidation of Ozone in the Presence of a Base, *Molecules*, 2025, 30(1), 00201. DOI:10.3390/molecules30010201
- Sotaro Sato, Hinako Tabuchi, Kohtaro Katayama, Kenji Matsumoto, Hiroyuki Miyamoto, Sorai Kanno, Hiroshi Sekiguchi, Yoshinobu Tanaka, Mari Inoue, Choji Murata, Hiroki Hotta, Yoshio Tsujino, Synthesis of a new amino acid derivative with long-lasting hair shape control effects and elucidation of its mechanisms, *International Journal of Cosmetic Science*, 2025, 00:1–12. DOI:10.1111/ics.13054
- 新菜摘, 辻野義雄, 堀田弘樹, うねり改善成分の評価と製剤化応用 (Evaluation and Formulation Applications of Hair Wave Improvement Ingredients), *Cosmetic Sci.*, 2024, (12), 36–41.

(三村)

- Haruo Mimura, Yuto Nakanishi, Kohei Hirono, Akiyoshi Nakajima, Reducing settlement frequency on a surface by inducing phototaxis of cypris larvae toward a blue LED light source with higher irradiance, *Salt and Seawater Science & Technology*, Vol. 6, pp. 1–11 (2025). DOI:10.11457/ssst.6.0_1

(堀江)

- Shohag S., Horie Y. 2024. Neurotoxicity and Cardiovascular Toxicity of Zinc Oxide Nanoparticles to *Oryzias melastigma*. *J. Appl. Toxicol.* 45(3):452-459. DOI: 10.1002/jat.4718
- Uaciquete D., Mitsunaga K., Aoyama K., Kitajima K., Chiba T., Jamal DL., Jiang JJ., Horie Y. 2024. Microplastic abundance in the semi-enclosed Osaka Bay, Japan. *Environ. Sci. Pollut. Res. Int.* 31(36): 49455-49467. DOI: 10.1007/s11356-024-34444-x
- Naïja A., Horie Y., Boughattas, S., Ismail, S., Al-Mansouri, N. 2024. Toxicity assessment of di(2-ethylhexyl) phthalate using zebrafish embryos: Cardiotoxic potential. *Comp. Biochem. Physiol. C Toxicol. Pharmacol.* 283: 109956. DOI: 10.1016/j.cbpc.2024.109956
- Mitsunaga K., Shohag S., Ming CJ., Yap CK., Horie Y. 2024. Phenytoin causes behavioral abnormalities and suppresses kisspeptin expression, reducing reproductive performance in Japanese medaka. *Aquat. Toxicol.* 273:107007. DOI: 10.1016/j.aquatox.2024.107007
- Uaciquete D., Sawada A., Chiba T., Espino MP., Iguchi T., Horie Y. 2024. Occurrence

- and ecological risk assessment of 16 plasticizers in the rivers and estuaries in Japan. *Chemosphere*. 362: 142605. DOI: 10.1016/j.chemosphere.2024.142605
- Horie Y., Sawada A., Dorcas U., Ramaswamy BR., Iguchi T. 2024. Iopanoic acid alters thyroid hormone-related gene expression, thyroid hormone levels, swim bladder inflation, and swimming performance in Japanese medaka. *Comp. Biochem. Physiol. C Toxicol. Pharmacol.* 281: 109930. DOI: 10.1016/j.cbpc.2024.109930
 - Sawada A., Dorcas U., Horie Y. 2024. Behavioral profile alterations and predation susceptibility of Japanese medaka fish exposed to phenytoin, an antiepileptic drug. *Environ. Toxicol. Pharmacol.* 108: 104474. DOI: 10.1016/j.etap.2024.104474
 - Yap CK., Nulit R., Yaacob A., Shamsudin Z., Ong MC., Syazwan WM., Okamura H., Horie Y., Leow CS., Setyawan AD., Kumar K., Cheng WH., Aguol KA. 2024. Potentially Toxic Metals in Cucumber *Cucumis sativus* Collected from Peninsular Malaysia: A Human Health Risk Assessment. *IgMin Research*. 2(6): 446-452. DOI: 10.61927/igmin200

海洋・気象学

(大澤)

- 濱地 義法, 大澤 輝夫, 林 美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-4 -強風遭遇リスクを考慮した離着陸可否評価-, 日本航海学会論文集, Vol.151, pp.64-70, DOI: 10.9749/jin.151.64, 2024
- Shimada, S., Kogaki, T., Konagaya, M., Mito, T., Misaki, T., Hamada, K., Araki, R., Ohhata, S., Ueda, Y., Ohsawa, T., Mutsu 2020 scanning LiDAR experiment: Comparison of dual and single scanning LiDAR systems for near-shore wind measurement, *Wind Energy*, Vol.28, No. 4, DOI: 10.1002/we.70003, 2025
- Uchiyama, S., Ohsawa, T., Asou, H., Konagaya, M., Misaki, T., Araki, R., Hamada, K., Accuracy verification of multiple floating LiDARs at the Mutsu-Ogawara site, *Energies*, Vol.17, Issue 13, No.3164, DOI: 10.3390/en17133164, 2024
- 濱地 義法, 大澤 輝夫, 林 美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-3-MSM 格子点値と観測値の比較-, 日本航海学会論文集, Vol.150, pp.21-26, DOI:10.9749/jin.150.21, 2024
- 後藤 啓太, 大澤 輝夫, 上林 将輝, 圓尾 太朗, 小長谷 瑞木, 高桑 晋, WRF を用いた短期間現場観測値からの年間風況推定, 風工学研究論文集, No. 28, pp.248-257, DOI:10.14887/windengresearch.28.0_248

(林)

- Hayashi M, Masuda K, Hirokawa S. 2024. Characterization of Onboard Wind by Comparing Two Anemometers, *OCEANS 2024 – Halifax*:1-5. (DOI: 10.1109/OCEANS55160.2024.10753884)
- 藤田眞大・林美鶴・山下栄次・廣川綜一(2024), 瀬戸内海および周辺海域における海水中二酸化炭素分圧の空間的特徴, 日本海洋学会「海の研究」vol. 33(5-6):77-87. DOI: 10.5928/kaiyou.33.5-6_77
- Fujita M, Hayashi M, Yamashita E, Hirokawa S. 2024. Estimation of pCO₂ Using Random Forest in the Seto Inland Sea, Japan, *OCEANS 2024 – Halifax*:1-4.

(DOI:10.1109/OCEANS55160.2024.10754354)

- ・ 濱地義法・大澤輝夫・林美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-3-MSM 格子点値と観測値の比較 -, 日本航海学会論文集 150:21-26. (DOI: 10.9749/jin.150.21)
- ・ 濱地義法・大澤輝夫・林美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-4-強風遭遇リスクを考慮した離着陸可否評価 -, 日本航海学会論文集 151:64-70. (DOI: 10.9749/jin.151.64)
- ・ 小林志保・瀧真輝・林美鶴・東博紀, 河口部汽水域における難分解性有機窒素の増加と栄養塩フラックスの変化, 月刊「海洋」 56(3):187-193
- ・ 梅沢有・安元純・山口聖・林美鶴・清水裕太・小野寺真一, Rn を指標とした大阪湾沿岸域における地下水湧出の評価, 月刊「海洋」 56(3):194-201

(山地)

- ・ Kyoma Yahara, Kazuyo Yamaji, Fumikazu Taketani, Masayuki Takigawa, Yugo Kanaya, Sho Ohata, Yutaka Kondo, & Makoto Koike, Controlling factors of spatiotemporal variations in black carbon concentrations over the Arctic region by using a WRF/CMAQ simulation on the Northern Hemisphere scale, *Polar Science*, 41, 2024, DOI:10.1016/j.polar.2024.101093
- ・ Poonam Mangaraj, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Akash Biswal, Kazuyo Yamaji, Hikaru Araki, Natsuko Yasutomi, Masayuki Takigawa, Prabir K. Patra, Sachiko Hayashida, Akanksha Sharma, A. P. Dimri, Surendra K. Dhaka, Manpreet S. Bhatti, Mizuo Kajino, Sahil Mor, Ravindra Khaiwal, Sanjeev Bhardwaj, Vimal J. Vazhathara, Ravi K. Kunchala, Tuhin K. Mandal, Prakhar Misra, Tanbir Singh, Kamal Vatta & Suman Mor, Weak coupling of observed surface PM2.5 in Delhi-NCR with rice crop residue burning in Punjab and Haryana. *Npj Clim Atmos Sci* 8, 18, 2025, DOI: 10.1038/s41612-025-00901-8

海洋安全工学

(笹)

- ・ Chen, C., Chen, H., and Sasa, K., “Study on the Forecasting of Two Cold Surge Events from the Viewpoint of Maritime Transport”, *Meteorological Applications*, Vol.32, Issue 2, e70029, pp.1-17, March, 2025 DOI: 10.1002/met.70029
- ・ Yuen, P.C., Sasa, K., Kawahara, H., and Lee, S.W., “Statistical Validation of a Global Meteorological Database to Evaluate the Condensation Probability of Containers”, *Transactions of Navigation*, Vol.10, No.1, pp.12-23, March, 2025 DOI: 10.18949/jintransnavi.10.1_12
- ・ Yan, D., Chen, C., Gan, W., Sasa, K., He, G., and Yu, H., “Carbon Intensity Indicator (CII) Compliance: Applications of Ship Speed Optimization on Each Level Using Measurement Data”, *Marine Pollution Bulletin*, Vol.212, 117593, pp.1-17, January, 2025 DOI: 10.1016/j.marpolbul.2025.117593

- ・ 榊原繁樹, 木村安宏, 笹 健児, 矢野良治, 久保雅義: 地震津波来襲を想定した港湾における中小型練習船等の在船状況に関する一考察, 日本航海学会論文集, 第 151 号, pp.33-45, 2025 年 1 月 DOI: 10.9749/jin.151.33
- ・ Lee, S.W., Sasa, K., Masagaki, T., and Chen, C., “Effects of Swell Waves Caused by Atmospheric Depression on Ships Sailing in the North Pacific Ocean”, *Ocean Engineering*, Vol.312, 119121, pp.1-22, November, 2024 DOI: 10.1016/j.oceaneng.2024.119121
- ・ Takeuchi, K., Sasa, K., and Lee, S.W., “Optimal Maintenance Support System for Offshore Structures Based on Wave Prediction Analysis with NOWPHAS”, *Ocean Engineering*, Vol.309, 118350, pp.1-27, October, 2024 DOI: 10.1016/j.oceaneng.2024.118350
- ・ Maki, A., Maruyama, Y., Dostal, L., Sasa, K., Sawada, R., and Wakita, K., “Practical Method for Evaluating Wind Influence on Autonomous Ship Operations (2nd Report)”, *Journal of Marine Science and Technology*, Vol.29, pp.876-884, August, 2024 DOI: 10.1007/s00773-024-01025-z

放射線・粒子ビーム科学

(金崎)

- ・ Tomoya Yamauchi, Yutaka Mori, Shunto Higashi, Hayato Seiichi, Masahiko Hasegawa, Akito Takahashi, Akira Taniike, Masato Kanasaki, Detections of He-3 in Ni-based binary metal nanocomposites with Cu in zirconia exposed to hydrogen gas at elevated temperatures, *Japanese Journal of Applied Physics*, 64, 0175004 (2025) DOI 10.35848/1347-4065/ada658
- ・ Y. Sakawa, H. Ishihara, S. N. Ryazantsev, M. A. Alkhimova, R. Kumar, O. Kuramoto, Y. Matsumoto, M. Ota, S. Egashira, Y. Nakagawa, T. Minami, K. Sakai, T. Taguchi, H. Habara, Y. Kuramitsu, A. Morace, Y. Abe, Y. Arikawa, S. Fujioka, M. Kanasaki, T. Asai, T. Morita, Y. Fukuda, S. Pikuz, T. Pikuz, Y. Ohira, L. N. K. Döhl, N. Woolsey, and T. Sano: Laser-Driven Proton-Only Acceleration in a Multicomponent Near-Critical-Density Plasma, *Phys. Rev. Lett.* 133, 195102 (2024). DOI 10.1103/PhysRevLett.133.195102
- ・ F. Nikaido, Y. Abe, T. Minami, K. Kuramoto, T. Yasui, K. Sakai, M. Kanasaki, Y. Fukuda, H. Kiriyama, C. S. Jao, C. M. Chu, K. T. Wu, W. Y. Woon, Y. L. Liu, T. Pikuz, S. Hamaguchi, N. Saura, S. Benkadda, T. Kusumoto, S. Kodaira, Y. Kuramitsu: 3D track extraction from a fluorescent nuclear track detector via machine learning and an application to diagnostics of laser-driven ions, *Rev. Sci. Instrum.* 95, 103302 (2024). DOI 10.1063/5.0219480
- ・ Masato Kanasaki, Kouta Mune, Taiyo Itoh, Ken Yasuda, Bunta Ishihara, Tamon Kusumoto, Satoshi Kodaira, Rémi Barillon, Tomoya Yamauchi, Sensitization effect of carbon dioxide treatment on CR-39 track detectors for protons and heavy ions, *Nuclear Instruments and Methods B*, 554, 165409. (2024). DOI 10.1016/j.nimb.2024.16540

- Y. Kuramitsu, T. Taguchi, F. Nikaido, T. Minami, T. Hihara, S. Suzuki, K. Oda, K. Kuramoto, T. Yasui, Y. Abe, K. Ibano, H. Takabe, C. M. Chu, K. T. Wu, W. Y. Woon, S. H. Chen, C. S. Jao, Y. C. Chen, Y. L. Liu, A. Morace, A. Yogo, Y. Arikawa, H. Kohri, A. Tokiyasu, S. Kodaira, T. Kusumoto, M. Kanasaki, T. Asai, Y. Fukuda, K. Kondo, H. Kiriyama, T. Hayakawa, S. J. Tanaka, S. Isayama, N. Watamura, H. Suzuki, H. S. Kumar, N. Ohnishi, T. Pikuz, E. Filippov, K. Sakai, R. Yasuhara, M. Nakata, R. Ishikawa, T. Hoshi, A. Mizuta, N. Bolouki, N. Saura, S. Benkadda, M. Koenig, S. Hamaguchi: Optimization of laser-driven quantum beam generation and the applications with artificial intelligence, *Phys. Plasmas* 31, 053108 (2024). DOI 10.1063/5.0190062
- Ken Yasuda, Yutaka Mori, Tamon Kusumoto, Shunto Sadamitsu, Bunta Ishihara, Daisuke Kohinata, Masato Kanasaki, Satoshi Kodaira, Rémi Barillon, Tomoya Yamauchi: Chemical damage around Xe ion tracks in Poly(allyl diglycol carbonate) PADC track detector, *Nuclear Instruments and Methods B*, 550, 165294. (2024). DOI 10.1016/j.nimb.2024.165294

(山内)

- Tomoya Yamauchi, Yutaka Mori, Shunto Higashi, Hayato Seiichi, Masahiko Hasegawa, Akito Takahashi, Akira Taniike, Masato Kanasaki, Detections of He-3 in Ni-based binary metal nanocomposites with Cu in zirconia exposed to hydrogen gas at elevated temperatures, *Japanese Journal of Applied Physics*, 64, 0175004 (2025) DOI 10.35848/1347-4065/ada658
- Masato Kanasaki, Kouta Mune, Taiyo Itoh, Ken Yasuda, Bunta Ishihara, Tamon Kusumoto, Satoshi Kodaira, Rémi Barillon, Tomoya Yamauchi, Sensitization effect of carbon dioxide treatment on CR-39 track detectors for protons and heavy ions, *Nuclear Instruments and Methods B*, 554, 165409. (2024). DOI 10.1016/j.nimb.2024.16540
- Ken Yasuda, Yutaka Mori, Tamon Kusumoto, Shunto Sadamitsu, Bunta Ishihara, Daisuke Kohinata, Masato Kanasaki, Satoshi Kodaira, Rémi Barillon, Tomoya Yamauchi: Chemical damage around Xe ion tracks in Poly(allyl diglycol carbonate) PADC track detector, *Nuclear Instruments and Methods B*, 550, 165294. (2024). DOI 10.1016/j.nimb.2024.165294

海洋基礎科学

(上田)

- Yusuke Ishigaki, Yoshihiro Ueda, Stability of stationary solutions to outflow problem for compressible viscoelastic system in one dimensional half space. *AIMS Math.* 9 (2024), no. 11, 33215-33253.
- Marta Pellicer, Ramon Quintanilla, Yoshihiro Ueda, Dissipative structures for the system of Moore-Gibson-Thompson thermoelasticity in the whole space. *Math. Methods Appl. Sci.* 47 (2024), no. 9, 7804-7818.
- Renjun Duan, Shota Sakamoto, Yoshihiro Ueda, An $L^1_k \cap L^p_k$ approach for the non-

cutoff Boltzmann equation in R3. *SIAM J. Math. Anal.* 56 (2024), no. 1, 762-800.

- Ramon Quintanilla, Yoshihiro Ueda, Decay estimate of the viscoelastic plate with type II heat conduction in the whole space. *Appl. Math. Lett.* 147 (2024), Paper No. 108829, 8 pp.

(ゴメス)

- Park, J.H., Shinohara, Y., Gomez, C., Hotta, N. 2025. Estimating Sediment Export over Two Decades Following a Volcanic Eruption: A Case Study at Mount Unzen, Japan. *International Journal of Erosion Control Engineering* 18, 1-10. DOI:10.13101/ijece.18.1
- Jumadi, H., Priyono, K.D., Amin, C., Saputra, A., Gomez, C., Lam, K.C., Rohman, A., Patel, N., Sattar, F., Nawaz, M., Wardadi, K.S. 2025. Tsunami Risk Mapping and Sustainable Mitigation Strategies for Megathrust Earthquake Scenario in Pacitan Coastal Areas, Indonesia. *Sustainability* 17, 2564. DOI:10.3390/su17062564 (IF: 3.9)
- Simataa, C.B., Persendt, F., Gomez, C. 2025. Perceptions of Key Stakeholders on Current Methods and Technologies Used in Monitoring and Control of Fisheries Activities in Namibia's Exclusive Economic Zone (EEZ). *Aquatic Conservation: Marine and Freshwater Ecosystems* 35. E70117. DOI:10.1002/aqc.70117 (IF:2.94)
- Zhang, M., Gomez, C., Shinohara, Y., Hotta, N. 2025. Drone LiDAR Occlusion Analysis and Simulation from Retrieved Pathways to Improve Ground Mapping of Forested Environments. *Drones* 9, 135. DOI:10.3390/drones9020135 (IF: 4.4)
- Puwaningsih, R., Sartohadi, J., Guruh Samodra, Gomez, C. 2025. Delineating a detailed mountain ecosystem using spatial statistics: A case study in Kodil Watershed, Menoreh-Sumbing Mountain, Central Java, Indonesia. *Ecological Engineering and Environmental Technology* 26, 286-300. DOI:10.12912/27197050/200285 (IF:1.3)
- Janik, M., Gomez, C., Kodaira, S., Gradziel, D. 2025. Development of a New Tool to Simultaneously Measure Soil Permeability and CO₂ Concentration as Important Parameters for Geogenic Radon Potential Assessment. *Environmental Monitoring and Assessment* 197, 124. DOI:10.1007/s10661-024-13594-y (IF: 3.0)
- Zhang, M., Gomez, C., Hotta, N., Daikai, R., Sawada, S., Bradak, B. 2025. Tele-effect of geomorphological change on the spatial variability of the precision of SfM-MVS 3D point-cloud models. DOI:10.14712/23361980.2025.6 (IF: 0.5)
- Zheng, H., Wang, H., He, H., Wu, Y., Deland, C.O., Wu, J., Lu, J., Yao, Z., Hu, Y., Gomez, C. 2024. Quantifying the heterogeneity of urban water resources utilization efficiency through meta-frontier super SBM model: Application in the Yellow River Basin. *Journal of Cleaner Production* 485, 144410. DOI:10.1016/j.jclepro.2024.144410 (IF: 11.07)
- Saputra, A., Ibrahim, Mh.Bin., Sharif, A., Shofirun, S., Gomez, C., Priyana, Y., Sunariya, T., Iqbal, M., Wibowo, A.A., Sigit, A.A., Amin, C., Hadibasyr, H.Z., Priyono, K.D., Fluorida, K., Syaifudin, A., Hafidzin, R. 2024. Jakarta and Greater Kuala Lumpur Urban Heat Island During the Pandemic of Covid-19. *Geographia Technica* 19-2, 282-296. DOI:10.21163/GT_2024.192.22 (IF: 1.07)

- Yousefi, S., Amami, S.N., Nekoeimehr, M., Rahmati, O., Imaizumi, F., Gomez, C. 2024. A hot-spot analysis of forest roads based on soil erosion and sediment production. *Land* 13, 1583. DOI:10.3390/land13101583 (IF: 3.9).
- Gomez, C. 2024. The 1 January 2024 Noto Peninsula co-seismic landslides hazards: Preliminary Results. *AUC Geographica* 60, 3-10. DOI:10.14712/23361980.2024.11 (IF: 0.5)
- Janik, M., Gomez, C., Kodaira, S., Hassan, M.M. 2024. Preliminary result of spatial distribution of radon and thoron with associated parameters in soil around active faults in Japan. *Radiation Protection Dosimetry* 200, 1726-1731. DOI:10.1093/rpd/ncae117 (IF: 1.0)
- Prana, A.M., Curl, A., Dionisio, M.R., Gomez, C., Hart, D., Apriyanto, H. 2024. Urban planning approaches to support community-based flood adaptation in North Jakarta Kampung. *Disaster Prevention and Management: An International Journal* 33, 383-405. DOI:10.1108/DPM-05-2023-0114 (IF: 1.9)
- Sunardi, S., Dede, M., Wibowo, S.B., Prasetyo, Y., Astari, A.J., Lukman, L., Lavigne, F., Gomez, C., Nurani, I.W., Sakai, Y., Kamarudin, M.K.A. 2024. Preliminary assessment of river ecosystem services in the volcanic area of Mount Merapi, Indonesia. *Aquatic Ecology*, DOI:10.1007/s10452-024-10107-4, 1-14. (IF: 1.8)
- Jumaji, J., Priyono, K.D., Sasmi, A.T., Saputra, A., Gomez, C. 2024. Multi-Scenarios Tsunami Hazard and Evacuation Routes using Seismic Data in Pacitan Bay, Indonesia. *GEOMATE Journal* 26, 46-53. (IF: 1.6)
- Gomez, C. 2024. Dams Overtopping Scenarios from Catastrophic Landslides in Mountains' Headwaters: Case Study in Kobe City, Japan. *Forum Geografi* 38, 1-10.
- Malawani, M.N., Lavigne, F., Kelfoun, K., Lahitte, P., Hadmoko D.S., Gomez, C., Wassmer, P., Syamsuddin, S., Faral, A. 2024. Large debris avalanche and associated eruptive event at Samalas Volcano, Lombok, Indonesia. *Bulletin of Volcanology* 86,3, 1-24. (IF: 2.52)
- Park, J.H., Shinohara, Y., Gomez, C., Hotta, N. 2024. Factors controlling volcanic debris flows two decades after the 1990-1995 eruption at Mount Unzen in Japan. *Geomorphology* 453, 109119. (IF: 3.82)
- Prana, A.M., Dioniso, R., Curl, A., Hart, D., Gomez, C., Apriyanto, H., Prasetya, H. 2024. Informal adaptation to flooding in North Jakarta, Indonesia. *Progress in Planning*, 100851. (IF: 6.90)
- Gomez, C. 2024. Dams Overtopping Scenarios from Catastrophic Landslides in Mountains' Headwaters: Case Study in Kobe City, Japan. *Forum Geografi* 38, 1-10.

(井尻)

- Kawaguchi, H., Hori, M., Ijiri, A., Ikehara, M. 2025. Kinetic oxygen isotopic fractionation evaluated by amorphous silica synthesized at 10–40°C. *Geochemical Journal*, 59, 26–34.

(ブラダック)

- Bradák, B. and Okumi, M., 2024. Evidence and concerns about a latent, embryonic phase tectonic evolution and the existence of the young subsurface ocean on Mimas. *Icarus*, p.116163. DOI:10.1016/j.icarus.2024.116163 August, 2024
- Bradák, B., Okumi, M. 2024. The Geological Map of Mimas v1.0-2023. *Geosciences*, 14(1), 25. DOI:10.3390/geosciences14010025
- El Yazidi, M., Orgel, C., Sefton-Nash, E., De Marchi, G., Rickbir, B., Baratoux, D., Bouley, S., Filiberto, J., D'Incecco, P., Leone, G., Najet, S.S., Srarfi, F., Bradák, B., 2024. Analysis of faults and pit chains in Noctis Labyrinthus: Implications for early extension and possible magmatic plumbing. *Icarus*, p.116075. June, 2024 DOI:10.1016/j.icarus.2024.116075

(岩田)

- Iwata T, and Akamatsu T. 2025. Biologging as a potential platform for resolving ocean environmental issues and threats: Towards the development of the Internet of Animals. *Water Biology and security*, 100383. DOI: 10.1016/j.watbs.2025.100383
- Hashimoto N., Iwata T., Kihara, N., Nakamura K., Sakata M., Minamoto T. 2024. Detection of environmental DNA of finless porpoise (*Neophocaena asiaeorientalis*) in Osaka Bay, Japan. *Conservation Genetics Resources*, 16(3), 255-261. DOI: 10.1007/s12686-024-01361-7
- Foster-Dyer T. N. R., Goetz T. K., Iwata T., Holser R., Michael A. S., Pritchard C., Childerhouse S., Costa P. D., Ainley G. D., Pinkerton H. M., LaRue A. M. 2024. Prey targeted by lactating Weddell seals (*Leptonychotes weddellii*) in Erebus Bay, Antarctica. *Polar Biology*, 47(11), 1187-1202. DOI: 10.1007/s00300-024-03294-1
- Sato K., Watanabe S., Noda T., Koizumi T., Yoda K., Watanabe Y. Y., Sakamoto Q. K., Isokawa T., Yoshida A. M., Aoki K., Takahashi A., Iwata T., Nishizawa H., Maekawa T., Kawabe R., Watanuki Y. 2025. Biologging intelligent Platform (BiP): An Integrated and Standardized Platform for Sharing, Visualizing, and Analyzing Biologging Data. *Movement Ecology*, 13:23, DOI:10.1186/s40462-025-00551-8

(藤原)

- Fujiwara, Y., “Dynamics of turbulence production by attenuating interfacial gravity waves observed in air-water coupled wave-resolving simulation.” *Journal of Fluid Mechanics*, 999, A97, 2024. DOI: 10.1017/jfm.2024.934
- Fujiwara, Y., Waseda, T., Kodaira, T., Nose, T., Katsuno, T., and Sato, K., “Ice particle grouping under waves: experimental investigation of the initial stage of pancake ice formation.” *Cold Regions Science and Technology*, 233, 104449, 2025. DOI:10.1016/j.coldregions.2025.104449
- Imamura, H., Yoshikawa, Y., Fujiwara, Y., “Direct numerical simulations of the nonbreaking surface-wave-induced turbulence.” *Ocean Dynamics*, 75, 3, 2025. DOI:10.1007/s10236-025-01674-7

(貝野)

- Tonaki, Y., Kaino, Y. and Uchida, M. (2024). Parametric estimation for linear parabolic SPDEs in two space dimensions based on temporal and spatial increments. To appear in *Metrika*.

5. 研究発表

水環境学

(岡村)

- Nakayama,A., Yamano,N., Norioki Kawasaki,N., Hino,S., Okamura,H. (2024) Development of marine biodegradation test methods for plastics. Workshop on Marine Biodegradation of Polymer. ISBP-2024, Setia SPICE Convention Center, Penang Island, Malaysia, 2024.10.20-23.
- Zhou,M., Osaka,I., Yap,C.K., Emmanouil,C., Nakano,T., Okamura,H. (2024) Antifouling and marine paint-related microparticles containing heavy metals in surface water in Osaka Bay, Japan. 21th International Symposium on Toxicity Assessment, Fukuoka, Recent Hotel. 2024.8.25-30
- Nomura,M., Okamura,H., Yoshifumi Horie,Y. Nugroho,A.P., Ramaswamy,B.R., Hiroya Harino,H., Takeshi Nakano,T. (2024) Residue analysis of non-phthalate plasticizers in seawater and sediments at Osaka Bay, Japan. 21th International Symposium on Toxicity Assessment, Fukuoka, Recent Hotel. 2024.8.25-30
- 中山敦好, 川崎典起, 日野彰大, 山野尚子, 岡村秀雄 (2024) 海水生分解試験のための海水の活性化処理の検討. 高分子学会第 73 回高分子討論会.新潟大学五十嵐キャンパス 2024 年 9 月 25-27 日
- 日野彰大, 増井昭彦, 岡村秀雄, 川崎典起, 山野尚子, 中山敦好 (2024) 光による分解抑制が可能なオンデマンド型生分解性プラスチックの開発. 高分子学会第 73 回高分子討論会.新潟大学五十嵐キャンパス 2024 年 9 月 25-27 日
- 加納かおり, 二村綾美, 大下佳恵, 中坪良平, 松村千里, 吉田光方子, 楠将史, 吉田明輝, 速水健斗, 今吾一, 岡村秀雄 (2024) 兵庫県下における PM2.5 成分の長期測定データを用いた船舶排ガス影響の解析. 第 65 回大気環境学会. 慶應義塾大学日吉キャンパス. 2024 年 9 月 11-13 日
- 中山敦好, 山野尚子, 日野彰大, 川崎典起, 岡村秀雄 (2024) 瀬戸内海を中心とした各地の海水による生分解性プラスチックの海洋生分解性. 瀬戸内海研究フォーラム in 大阪. 2024 年 8 月 28-29 日
- 増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 (2024) 光スイッチ型生分解性プラスチックの実海域での分解性評価. 瀬戸内海研究フォーラム in 大阪. 2024 年 8 月 28-29 日
- 岡村秀雄 (2024) 海表面マイクロ層を浮遊する人工微粒子の生態リスク. 第 3 回環境化学物質合同大会 (環境化学会・環境毒性学会). JMS アステールプラザ (広島) 2024 年 7 月 2 日 (招待講演)
- 日野彰大, 岡村秀雄, 川崎典起, 山野尚子, 中山敦好 (2024) PHB, PCL, PA4 の海水生

分解挙動の比較. 第 73 回高分子学会年次大会. 仙台国際センター 2024 年 6 月 5-7 日

- 増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 (2024) 光スイッチ型生分解性樹脂の実海域での生分解. 第 73 回高分子学会年次大会. 仙台国際センター 2024 年 6 月 5-7 日

(堀田)

- 宮本紘幸, 田淵日奈子, 佐藤聡太郎, 片山耕太郎, 松本健嗣, 田中良宣, 生田義倫, 堀田弘樹, 辻野義雄, 2-(2-アミノエチルチオ)コハク酸の髪質改善効果の評価, 第 49 回日本化粧品学会, 2024.6.28-29, 日経ホール. ポスター
- 佐藤聡太郎, 宮本紘幸, 堀田弘樹, 生田義倫, 辻野義雄, 毛髪のブリーチに伴うダメージに対する新規アミノ酸化合物の効果について, 第 49 回日本化粧品学会, 2024.6.28-29, 日経ホール. 口頭発表
- 喜多佑輔, 橋本陸央, 桑原知彦, 松本健嗣, 堀田弘樹, 飯山充, 高柳俊夫, 水口仁志, トラックエッチ膜フィルターを用いたマルチ陽極陰極ペア検出 HPLC による飲料中フェノール化合物の分析, 分析化学会年会, 2024.9.11-13, 名古屋工業大学. 口頭発表
- 宮本紘幸, 片山耕太郎, 佐藤聡太郎, 松本健嗣, 田中良宣, 生田義倫, 望月佑次, 新菜摘, 堀田弘樹, 辻野義雄, 髪質改善素材とアミノ酸との反応性の観察, 分析化学会年会, 2024.9.11-13, 名古屋工業大学. ポスター
- 北川維人, 菅野宙依, 松本健嗣, 辻野義雄, 堀田弘樹, 光異性化した天然抗酸化剤カフェイン酸の酸化還元機構の研究, 分析化学会年会, 2024.9.11-13, 名古屋工業大学. 口頭発表
- 菅野宙依, 塩路万葉, 北川維人, 松本健嗣, 桑原知彦, 水口仁志, 辻野義雄, 大塚利行, 堀田弘樹, メタジヒドロキシベンゼン骨格の含むポリフェノールの再活性化, 分析化学会年会, 2024.9.11-13, 名古屋工業大学. 口頭発表
- Sotaro Sato, Katayama Kohtaro, Hiroki Hotta, Masahiro Takagi, Yoshio Tsujino, A Novel method for damage mitigation during hair bleaching by using the amino acid derivative, The 34th IFSCC Congress Brazil, October 14-17, 2024, Iguazu, Brazil.
- Yuji, Mochizuki, Akiyori Fujiwara, Toru Nagahama, Anju Yamada, Hiroki Hotta, Yoshio Tsujino, Novel hair coloring system using eumelanin precursor, DHI (5,6-Dihydroxyindole) based on Hair Science, The 34th IFSCC Congress Brazil, October 14-17, 2024, Iguazu, Brazil.
- Yoshiaki Kawaguchi, Sotaro Sato, Shota Inoue, Kyoko Takahashi, Yuji Mochizuki, Akiyori Fujiwara, Hiroki Hotta, Yoshio Tsujino, Beyond Straightening novel amino-acid-like compounds as a Groundbreaking Ingredient in Modern Hair Relaxer, The 34th IFSCC Congress Brazil, October 14-17, 2024, Iguazu, Brazil.
- Inoue Shota, Shin Natsumi, Kawaguchi Yoshiaki, Fujiwara Akiyori, Katayama Kotaro, Sato Sotaro, Hotta Hiroki, Tsujino Yoshio, Mochizuki Yuji, Development and evaluation of innovative new amino-acid-like compounds that improve hair frizz and curl retention by bioconjugation with hair tissue, The 34th IFSCC Congress Brazil, October 14-17, 2024, Iguazu, Brazil.
- S. Kanno, Y. Kitagawa, M. Shioji, K. Matsumoto, T. Kuwabara, H. Mizuguchi, Y. Tsujino, T. Osakai, and H. Hotta, Analysis of Redox Properties of Polyphenols with

- Resorcinol Moiety, PRiME 2024, October 6-11, 2024, Hawaii. Z01-4735
- Y. Kitagawa, S. Kanno, K. Matsumoto, Y. Tsujino, T. Osakai, and H. Hotta, Analysis of Redox Reaction of Caffeic Acid Under UV Irradiation By Electrochemical Measurements, PRiME 2024, October 6-11, 2024, Hawaii. Z01-4737
 - 片山耕太郎, 堀田弘樹, 辻野義雄, 塩基存在下におけるカテコールのオゾン酸化による cis,cis-ムコン酸の合成, CSJ フェスタ 2024, 2024.10.22-24, タワーホール船堀. ポスター
 - 谷嵐正之, 孟広治, 中野竜平, 堀田弘樹, 角田欣一, 紀本岳志, 赤外光導波路を用いた溶存二酸化炭素センサーの開発, CSJ フェスタ 2024, 2024.10.22-24, タワーホール船堀. ポスター
 - 望月佑次, 井上翔太, 新菜摘, 川口慶晃, 西山美穂, 佐藤聡太郎, 片山耕太郎, 松本健嗣, 堀田弘樹, 辻野義雄, 新規アミノ酸様化合物のうねり毛髪の改善効果や縮毛矯正効果の解明, 第 29 回日本臨床毛髪学会学術集会, 2024.11.2-3, ペリエホール. 口頭発表
 - 前多香穂, 菅野宙依, 松本健嗣, 堀田弘樹, 山本保, ポータブル元素分析装置によるフローインジェクションを用いた海水の主要元素分析, 第 60 回フローインジェクション分析講演会, 2024.11.13, 金沢工業大学. ポスター (優秀講演賞受賞)
 - 谷嵐正之, 孟広治, 堀田弘樹, 角田欣一, 紀本岳志, 赤外光導波路を用いた溶存二酸化炭素センサーの開発, 第 60 回フローインジェクション分析講演会, 2024.11.13, 金沢工業大学. ポスター
 - Yuito Kitagawa, Sorai Sorai, Kenji Matsumoto, Yoshio Tsujino, Hiroki Hotta, Oxidation reaction mechanism of caffeic acid under UV irradiation, The International Meeting of the Polarographic Society of Japan, November 16-17, 2024, Kyoto.
 - Sorai Kanno, Yuito Kitagawa, Mayo Shioji, Kenji Matsumoto, Tomohiko Kuwabara, Hitoshi Mizuguchi, Yoshio Tsujino, Toshiyuki Osakai, Hiroki Hotta, Reaction mechanism of polyphenols containing reactivating metadihydroxybenzene moiety, The International Meeting of the Polarographic Society of Japan, November 16-17, 2024, Kyoto. (Excellent Poster Award 受賞)
 - 片山耕太郎, 佐藤聡太郎, 松本健嗣, 宮本紘幸, 井上翔太, 新菜摘, 望月佑次, 堀田弘樹, 辻野義雄, 毛髪トリートメント効果を有する新規アミノ酸誘導体合成とその機能性評価, 第 2 回日本化粧品技術者会学術大会 Annual Congress of SCCJ, 2024.11.18-20, 神戸国際会議場. 口頭発表
 - 宮本紘幸, 佐藤聡太郎, 片山耕太郎, 松本健嗣, 堀田弘樹, 辻野義雄, 髪質改善素材の効能とアミノ酸との反応性の観察, 若手フロンティア研究会 2024, 2024.12.24, 神戸大学百年記念館. ポスター
 - 菅野宙依, 塩路万葉, 中野竜平, 北川維人, 松本健嗣, 桑原知彦, 水口仁志, 辻野義雄, 大塚利行, 堀田弘樹, メタジヒドロキシベンゼン骨格を含むポリフェノールの再活性化の研究, 若手フロンティア研究会 2024, 2024.12.24, 神戸大学百年記念館. ポスター
 - 松本健嗣, 片山耕太郎, 佐藤聡太郎, 宮本紘幸, 堀田弘樹, 辻野義雄, 新規髪質改善成分の開発から機序解明まで, 第 15 回 MGK 研究発表会, 2025.2.7, 東京ガーデンパレス. 口頭発表
 - 吉井舞耶, 佐藤聡太郎, 片山拓哉, 池内亮太, 堀田弘樹, 辻野義雄, 鷲家真吾, 毛髪用ブリーチ剤におけるアルカリ臭の低減の検討, 日本化学会第 105 春季年会, 2025.3.26-29.

ポスター

(堀江)

- ・ 堀江好文「生物個体に頼る生態毒性の未来は？」第3回環境化学物質合同大会. JMS アステールプラザ, 広島. 2024年7月2日-7月5日.
- ・ 光永健介, 堀江好文「抗てんかん薬フェニトインの曝露はメダカにおいてキスペプチンの発現を抑制し, 繁殖能力を低下させる」第3回環境化学物質合同大会. JMS アステールプラザ, 広島. 2024年7月2日-7月5日.
- ・ 澤田彩花, 堀江好文「抗てんかん薬(フェニトイン)によって誘導されたニホンメダカの行動異常が危機回避行動に与える影響」第3回環境化学物質合同大会. JMS アステールプラザ, 広島. 2024年7月2日-7月5日.
- ・ 茅早優斗, 堀江好文「緊急避妊薬(ウリプリスタル酢酸エステル)がニホンメダカの成長性分化に与える影響」第3回環境化学物質合同大会. JMS アステールプラザ, 広島. 2024年7月2日-7月5日.

海洋・気象学

(大澤)

- ・ 濱地 義法, 大澤 輝夫, 林 美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-4 -強風遭遇リスクを考慮した離着陸可否評価-, 第150回日本航海学会春季講演会, 2024年5月30日, 東京
- ・ 後藤 啓太, 大澤 輝夫, 上林 将輝, 圓尾 太郎, 小長谷 瑞木, 高桑 晋, WRFを用いた短期間現場観測値からの年間風況推定, 第28回風工学シンポジウム, 2024年12月4日, 東京
- ・ 見崎 豪之, 大澤 輝夫, 小長谷 瑞木, 嶋田 進, 日本沿岸域を対象とした地表面粗度長に対するWRF風速の感度実験, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京
- ・ 圓尾 太郎, 大澤 輝夫, 高桑 晋, 邊見 力, 渡辺 慶一郎, 長谷川 聖矢, 高祖 研一, 白井 康一, WRFと時別ベクトル補正を用いた沿岸風況推定に関する研究: 観測値の代表性を考慮した手法の拡張の初期検討, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京
- ・ 糸島 裕樹, 邊見 力, 高桑 晋, 渡邊 慶一郎, 圓尾 太郎, 大澤 輝夫, 複数点の洋上風況観測による地形影響の考察と数値シミュレーションの精度検証, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京
- ・ 佐野 朝昭, 門 安曇, 麻生 裕司, 中尾 徹, 永山 龍之介, 田中 仁, 大澤 輝夫, 藤原 泰, むつ小川原試験サイトにおける小型係留式海象観測ブイ Spotter の波浪・風況の精度検証, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京
- ・ 赤井 玲那, 大澤 輝夫, 小長谷 瑞木, 見崎 豪之, 濱田 康平, 竹山 優子, 内山 将吾, 外洋におけるハブ高度風況推定技術の検討(その2) -衛星の観測頻度が推定精度に与える影響-, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京
- ・ 新谷 達哉, 大澤 輝夫, 松本 陸柳, 小長谷 瑞木, 中里 廉, 見崎 豪之, 凍結乱流仮説を適用した鉛直ライダーによる乱流強度計測, 第46回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024年11月29日, 東京

- ・ 松本 陸椰, 大澤 輝夫, 新谷 達哉, 小長谷 瑞木, 中里 廉, 見崎 豪之, 鉛直ライダーの乱流強度計測における誤差発生要因の解明, 第 46 回風力エネルギー利用シンポジウム, 2024 年 11 月 29 日, 東京
- ・ 名部井 愛里菜, 大澤 輝夫, 圓尾 太朗, 井上 実, 大西 健二, 上原 謙太郎, 山形県酒田沿岸における下層風速極大発生要因の解明, 日本気象学会 2024 年度秋季大会, 2024 年 11 月 15 日, 茨城
- ・ 大澤 輝夫「洋上風況観測の現状と今後」, アルファ水工社勉強会 (招待講演) , 2024 年 5 月 31 日, 東京

(林)

- ・ 林美鶴, Disturbance of marine sediments by tsunami and its effect on water quality, IOC/WESTPAC, 2024 年 4 月 22-25 日, バンコク (タイ)
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, 山下栄次, 廣川綜一, 瀬戸内海における年間の $p\text{CO}_2$ 推定, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 2024 年 5 月 26-30 日, 千葉
- ・ 小林志保, 杉本亮, 中田聡史, 梅澤有, 洸真輝, 林美鶴, 大阪湾における有色溶存有機物(CDOM)の鉛直分布と分解特性, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 2024 年 5 月 26-30 日, 千葉
- ・ 林美鶴, 増田千輝, 廣川綜一, 両舷に搭載された風向, 風速計による船上風計測特性の把握, 日本航海学会第 150 回日本航海学会春季講演会. 2024 年 5 月 30-31 日, 東京
- ・ 濱地義法, 大澤輝夫, 林美鶴, 最新気象予報技術を活用した運航判断-3 - MSM 格子点値と観測値の比較 -, 日本航海学会第 150 回日本航海学会春季講演会. 2024 年 5 月 30-31 日, 東京
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, 山下栄次, 廣川綜一, 瀬戸内海における季節別の $p\text{CO}_2$ 推定, 2024 年度日仏海洋学会学術研究発表会, 2024 年 6 月 15 日, 東京/オンライン
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, ランダムフォレストを用いた $p\text{CO}_2$ 長期変動の推定, 2024 年瀬戸内海水産環境研究集会, 2024 年 8 月 26-27 日, 愛媛
- ・ 谷田裕, 林美鶴, FVCOM を用いた大阪湾の流況再現および HF レーダー観測値による精度評価, 2024 年瀬戸内海水産環境研究集会, 2024 年 8 月 26-27 日, 愛媛
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, 山下栄次, 廣川綜一, 大阪湾における $p\text{CO}_2$ 長期変動の推定, 第 31 回瀬戸内海フォーラム in 大阪, 2024 年 8 月 28-29 日, 大阪
- ・ 林美鶴, 増田千輝, 廣川綜一, 船上計測風に見られる船体構造物の影響, 日本海洋学会 2024 年度秋季大会, 2024 年 9 月 16-20 日, 東京
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, 山下栄次, 廣川綜一, 瀬戸内海における $p\text{CO}_2$ 長期変動の推定, 日本海洋学会 2024 年度秋季大会, 2024 年 9 月 16-20 日, 東京
- ・ 林美鶴, 増田千輝, 廣川綜一, Characterization of Onboard Wind by Comparing Two Anemometers, OCEANS 2024, 2024 年 9 月 22-28 日, ハリファックス (カナダ)
- ・ 藤田眞大, 林美鶴, 山下栄次, 廣川綜一, Estimation of $p\text{CO}_2$ Using Random Forest in the Seto Inland Sea, Japan, OCEANS 2024, 2024 年 9 月 22-28 日, ハリファックス (カナダ)
- ・ 松内美緒, 林美鶴, 廣川綜一, 中田聡史, 阪神港における局地的な津波リスクの定量化, 日本航海学会第 151 回日本航海学会秋季講演会, 2024 年 10 月 17-18 日, 山口
- ・ 増田千輝, 林美鶴, 廣川綜一, 船上の風向風速計が計測する風を海上の風に補正する手

- 法の確立, 九州大学応用力学研究所研究集会, 2024年12月2-4日, 福岡
- 谷田裕, 林美鶴, 廣川綜一, 海洋レーダを用いた海況監視システムの開発と応用, 九州大学応用力学研究所研究集会, 2024年12月2-4日, 福岡
 - 増田千輝, 林美鶴, 廣川綜一, 船上の風向風速計が計測する風を海上の風に補正する手法の確立, 香川大学瀬戸内圏研究センター沿岸海洋研究集会, 2024年12月21-22日, 香川
 - 高橋祐生, 林美鶴, 廣川綜一, 谷田裕, 津波によって巻き上げられた物質の輸送とその季節変動, 香川大学瀬戸内圏研究センター沿岸海洋研究集会, 香川大学, 2024年12月21-22日, 香川
 -
- (山地)
- 西崎馨, 山地一代, Thi Minh Phuc HA, 金谷有剛, 航空機観測を用いた北極圏 BC 高度分布の解析. ArCS II Final Symposium, 2025年3月13日, 立川
 - 西山朋輝, 山地一代, 矢原京馬, 日本気象協, 竹谷文一, 滝川雅之, 金谷有剛, 化学輸送モデル CMAQ による北極圏 BC に対するバイオマスバーニングの影響調査. ArCS II Final Symposium, 2025年3月13日, 立川
 - 山地一代, 北半球規模の大気質モデルを用いた北極圏 BC の変動解析 ～中緯度からの輸送影響の観点より～. 応用力学研究所 研究集会・第8回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会, 2024年2月27-28日, 福岡県春日市
 - 西崎馨, 山地一代, Thi Minh Phuc HA, 金谷有剛, 航空機観測よりみられる北極圏 BC 濃度の高度分布特性. 2024年度大気環境学会近畿支部研究発表会, 2024年12月26日, 大阪
 - 井上凜子, 山地一代, 気象タイプ別の降水中の化学成分比の地域的特徴, 2024年度大気環境学会近畿支部研究発表会, 2024年12月26日, 大阪
 - 古藤千寛, 山地一代, 金谷有剛, 衛星観測と地上観測間にみられるメタン濃度変動の差異要因について. 2024年度大気環境学会近畿支部研究発表会, 2024年12月26日, 大阪
 - 山本果蓮, 伊藤和一郎, 荒木真, 茶谷聡, 北山響, 板橋秀一, 山地一代, 櫻井達也, 松尾智仁, 嶋寺光, 大気境界層過程の差異が大気質モデルによるオゾン濃度経年変化の再現性に及ぼす影響. 2024年度大気環境学会近畿支部研究発表会, 2024年12月26日, 大阪
 - 西山朋輝, 山地一代, 矢原京馬, 日本気象協, 竹谷文一, 滝川雅之, 金谷有剛, 大畑祥, 近藤豊, 小池真, 春季北極圏 BC 濃度の高度分布に対するバイオマスバーニングの影響 2024年度大気環境学会近畿支部研究発表会, 2024年12月26日, 大阪
 - Akash Biswal, Masayuki Takigawa, Jagat Bish, Poonam Mongaraj, Prabir Kumar Patra, Mizuo Kajino, Kazuyo Yamaji, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Sachiko Hayashida, Natsuko Yasutomi, Hikaru Araki, Impact of CRB emission on PM2.5 concentration over Northwest India using multiple emission scenarios by WRF-Chem. AGU24, 2024年12月9-13日, Washington D.C.
 - 西山朋輝, 山地一代, 矢原京馬, 竹谷文一, 滝川雅之, 金谷有剛, 大畑祥, 近藤豊, 小池真, 2015年北極圏 BC 濃度に対するバイオマス燃焼起源排出の影響. 第29回大気化学討論会, 2024年10月9-11日, 神戸

- 竹谷文一, 山地一代, 関谷高志, 岩本洋子, 金谷有剛, 部インド洋での大気微量成分船舶観測: モデル計算との比較・発生源寄与評価. 第29回大気化学討論会, 2024年10月9-11日, 神戸
- 板橋秀一, 金谷有剛, 茶谷聡, 山地一代, 嶋寺光, 櫻井達也, 永島達也, 池田恒平, 谷本浩志, 公開 黒色炭素表面上の不均一反応過程が 東アジア域の対流圏オゾン濃度に与える影響. 第29回大気化学討論会, 2024年10月9-11日, 神戸
- 入澤大悟, 櫻井達也, 茶谷聡, 山地一代, 嶋寺光, 板橋秀一, 湯山強, 関東の光化学オキシダントを対象としたモデル間比較研究. 第65回大気環境学会年会, 2024年9月11-13日, 横浜
- Akash Biswal, Yutaka Matsumi, Takigawa Masayuki, Jagat Bish, Poonam Mangaraj, Prabir K. Patra, Tomoki Nakayama, Sachiko Hayashida, Hikaru Araki, Mizuo Kajino, Kazuyo Yamaji, Impact of autumn crop residue burning emissions to the PM2.5 concentration over North-west India using WRF-CHEM with multiple emission scenarios. 2024 iCACGP-IGAC Joint Conference, 2024年9月9-13日, Kuala Lumpur
- Phuc Thi Minh Ha, Yugo Kanaya, Kazuyo Yamaji, Takashi Sekiya, Maria Dolores, Andrés Hernández, John Philip Burrows, Hans Schlager, Michael Lichtenstern, Mira Poehlker, Bruna Holanda, EMeRGe-Asia science team, Biomass-burning and anthropogenic emissions of black carbon, CO, and CO₂ from South East Asia and China: an integrated analysis of Regional Air Quality Model (CMAQ) and EMeRGe-Asia aircraft observations during early spring 2018. 2024 iCACGP-IGAC Joint Conference, 2024年9月9-13日, Kuala Lumpur
- Kazuyo Yamaji, Sayaka Tsuji, Mizuo Kajino, Sachiko Hayashida, Natsuko Yasutomi, Hikaru Araki, Akash Biswal, Poonam Mangaraj, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Masayuki Takigawa, Tanbir Singh, Prabir K. Patra, Modeling study for the heavy PM2.5 pollution during the dry season in northwestern India. 2024 iCACGP-IGAC Joint Conference, 2024年9月9-13日, Kuala Lumpur
- Poonam Mangaraj, Yutaka Matsumi, Akash Biswal, Kazuyo Yamaji, Masayuki Takigawa, Hikaru Araki, Natsuko Yasutomi, Tomoki Nakayama, Prabir K. Patra, Sachiko Hayashida, Akanksha Sharma, A. P. Dimri, Surendra K. Dhaka, Manpreet S. Bha, Mizuo Kajino, Ravi K. Kunchal, Vimal J. Vazhathara, Prakhar Misra, Tanbir Sing, Measurements of PM2.5 during kharif rice crop residue burning (2022- 2023) by low-cost sensor network in Punjab, Haryana and Delhi-NCR. 2024 iCACGP-IGAC Joint Conference, 2024年9月9-13日, Kuala Lumpur
- Kazuyo Yamaji, Modelling study for the heavy PM2.5 pollution during the dry season in northwestern India, Aakash International Workshop 2024, 2024年8月28-30日, Kyoto
- 板橋秀一, 嶋寺光, 山地一代, 櫻井達也, 茶谷聡, 2018年4月の黄砂イベントに対するモデル相互比較実験. 第41回エアロゾル科学・技術研究討論会, 2024年8月20-22日, 八王子
- 山地一代, Global Sulfur Cap 2020 による表層大気質の改善効果について, 北海道大学低温科学研究所 令和6年度共同利用研究集会・寒冷圏大気-海洋間の生物地球化学的相互作用に関する研究集会, 2024年8月1日, オンライン

- Phuc Thi Minh Ha, Yugo Kanaya, Kazuyo Yamaji, Takashi Sekiya, Maria Dolores, Andrés Hernández, John Philip Burrows, Hans Schlager, Michael Lichtenstern, Mira Pöhlker, Bruna Holanda, EMeRGe-Asia science team, China's black carbon, CO, and CO₂ emissions from integrated analysis of the Regional Air Quality Model (CMAQ) and EMeRGe-Asia aircraft observations during early spring 2018. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月27日, 幕張
- Kazuyo Yamaji, Sayaka Tsuji, Mizuo Kajino, Sachiko Hayashida, Tanbir Singh, Natsuko Yasutomi, Hikaru Araki, Akash Biswal, Poonam Mangaraj, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Masayuki Takigawa, Prabir Patra, Numerical analysis of PM pollution after Kharif-crop harvest over the Delhi-Haryana-Punjab region by combining regional model simulations and field observations. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張
- Tomoki Nakayama, Yutaka Matsumi, Tanbir Singh, Hikaru Araki, Natsuko Yasutomi, Akash Biswal, Poonam Mangaraj, Sachiko Hayashida, Mizuo Kajino, Kazuyo Yamaji, Prabir Patra, Studies of chemical evolution of crop residue burning plume in northwest India based on sensor network observations: Secondary formation of PM_{2.5} and loss of NO_x. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張
- Yasutomi Natsuko, Prabir Patra, Sachiko Hayashida, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Hikaru Araki, Mizuo Kajino, Kazuyo Yamaji, Poonam Mangaraj, Akash Biswal, Ryoichi Imasu, Rumiko Muraio, Overview of an Intensive Observation Campaign for Quantification of Air Pollution from Agricultural Residue Burning in Northwestern India. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張
- Akash Biswal, Yutaka Matsumi, Prabir Patra, Takigawa Masayuki, Jagat Bish, Tomoki Nakayama, Poonam Mangaraj, Sachiko Hayashida, Natsuko Yasutomi, Hikaru Araki, Mizuo Kajino, Kazuyo Yamaji, Multiyear comparison of WRF-Chem simulated PM_{2.5} with the widespread in-situ observation network during the autumn crop residue burning over North-west India. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張
- Mizuo Kajino, Kentaro Ishijima, Joseph Ching, Kazuyo Yamaji, Rio Ishikawa, Tomoki Kajikawa, Tomoki Nakayama, Yutaka Matsumi, Prabir Patra, Sachiko Hayashida, Impact of autumn crop residue burning on PM_{2.5} over North India using a meteorology-chemistry model, a high-density surface observation network, and inverse modeling. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張
- Poonam Mangaraj, Yutaka Matsumi, Akash Biswal, Kazuyo Yamaji, Masayuki Takigawa, Hikaru Araki, Natsuko Yasutomi, Tomoki Nakayama, Prabir K Patra, Sachiko Hayashida, Akansha Sharma, A P Dimri, Surendra K Dhaka, Manpreet S Bhatti, Mizuo Kajino, Sanjeev Bhardwa, Ravindra Khaiwa, Suman Mor, Ravi K Kunchala, Vimal J Vazhathara, Tuhin K Mandal, Prakhar Mishra, Tanbir Singh, Kamal Vatta, Unravelling the link between air pollution in Delhi and Rice Crop Residue Burning in Punjab and Haryana during 2022 and 2023 field campaign. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張

- ・ 松見豊, 中山智喜, Patra Prabir, 林田佐智子, Biswal Akash, Mangaraj Poonam, 安富奈津子, 荒木晶, 梶野瑞王, 山地一代, Singh Tanbir, インド北西部における稲わら焼きの環境影響を解明するローコストな大気計測器(PM2.5, CO and O3) の 32 台のネットワーク観測網の開発・設置とその観測結果. Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024年5月26日, 幕張

海洋安全工学

(笹)

- ・ 嶋 悠馬, 笹 健児, 岩下英嗣, ランキンパネル法による transom stern を持つ低速肥大船周りの波動場の計算について, 日本船舶海洋工学会・第29回推進・運動性能研究会, 2025年10月31日, 大阪大学
- ・ 宮原貫太, 笹 健児, 20,000TEU コンテナ船の実船データおよび AIS データから見たスエズ運河の航行状況に関する考察, 日本船舶海洋工学会・第29回推進・運動性能研究会, 2025年10月31日, 大阪大学
- ・ 正垣智也, 笹 健児, Lee, S.W., 北太平洋における荒天航海時の船舶の安全航行およびうねりの伝搬特性に関する一考察, 日本船舶海洋工学会・第29回推進・運動性能研究会, 2025年10月31日, 大阪大学
- ・ Sasa, K., Data Driven Studies for Ships in Actual Seas, Joint Seminar of Ship Data Science in KMOU, Korea Maritime & Ocean University, 2025年10月21日

放射線・粒子ビーム科学

(金崎)

- ・ 貞光 俊斗, 小日向 大輔, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 金崎 真聡, 小平 聡, 山内知也, Yvette Ngonon-Ravache, 楠本 多聞: 極低温その場観察型赤外線分光による PADC 中潜在飛跡形成過程の研究, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也: PADC 検出器の紫外線及びプロトン等の照射効果, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 能澤 毅成, 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也: PADC 飛跡検出器の応答特性における紫外線照射効果, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 山田 怜央, 木本 敦, 勢一 隼人, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 金崎 真聡, 山内 知也, 楠本 多聞, 小平 聡, 藤乗 幸子: Xe イオン照射 PADC 検出器のバルクエッチング特性に及ぼすガンマ線照射効果, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 山田 怜央, 木本 敦, 勢一 隼人, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 金崎 真聡, 山内 知也, 宮脇 信正: 30MeV 及び 65MeV 陽子線照射による PADC 中ヒドロキシル基生成挙動, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 勢一 隼人, 金崎 真聡, 山内 知也: 波動方程式を用いた固体飛跡検出器中エッチピット成長挙動を表すシミュレーションの開発, 第37回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025年3月26日.
- ・ 合原輔佑太, 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, Ar 液柱ターゲットによるレーザー駆動イオン加速の現状と課題, 第37回固体飛跡検出器研究会, 27-02, 神戸大学深江キャンパス, 2025年3月26-27日

- ・ 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 固体飛跡検出器 CR-39 を用いたレーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-03, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- ・ 川上恭平, 尾崎玲於奈, 苺谷有哉, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 田中龍生, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 固体飛跡検出器 CR-39 を用いたレーザー加速アルゴンイオンの計測, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-04, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- ・ 田中龍生, 豊永啓太, 合原輔佑太, 尾崎玲於奈, 前川馨, 苺谷有哉, 川上恭平, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 高強度レーザーとクラスターターゲットの相互作用領域に対する光学イメージング, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-05, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- ・ 金崎 真聡, 長谷川 雅彦, 東 柊斗, 勢一 隼人, 平間 駿斗, 山内 知也, 軽水素暴露した Cu-Ni/ZrO₂ 粉末試料の過剰発熱実験, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 26-12, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- ・ 山内知也, 森豊, 東俊斗, 勢一隼人, 長谷川正彦, 谷池 晃, 金崎 真聡, 水素ガスに高温で曝露したジルコニア内に Ni と Cu のナノ合金を分散させた複合材料中における He-3 の検出, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 26-13, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- ・ 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也 : PADC 飛跡検出器に及ぼす 172 nm 紫外線照射効果, 第 72 回応用物理学会春季学術講演会, 東京理科大学野田キャンパス, 2025 年 3 月 16 日.
- ・ 二階堂颯佳, 南卓海, 安部勇輝, 草野颯斗, 江寄大和, 福田祐仁, 東柊斗, 勢一隼人, 金崎真聡, 蔵満康浩, 「CR-39 へのイオン入射角解析における超解像技術の導入とプロトラジオグラフを用いた乱流電磁場再構築への応用」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C09-23a-V-04, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
- ・ 玉城直也, 南卓海, 二階堂颯佳, 北村力丸, 倉本恭誓, 安井稔遥, 岩佐建生, 黒地柊太郎, 田實太陽, 草野颯斗, 山中敬太, 飯田海地, 江寄大和, 加藤光, 内藤佳輝, 中村豊, 境健太郎, 安部勇輝, 桐山博光, 今亮, 近藤康太郎, Chu Che-Men, Woon Wei-Yen, Morace Alessio, 坂和洋一, 羽原英明, Pikuz Tatiana, 諫山翔伍, 金崎真聡, 時安敦史, 郡英輝, 小平聡, 早川岳人, 福田祐仁, 蔵満康浩, 「金積層グラフェンターゲットを用いたレーザー駆動準単色イオン加速」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-02, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
- ・ 草野颯斗, 江寄大和, 内藤佳輝, 二階堂颯佳, 北村力丸, 岩佐健生, 玉城直也, 南卓海, 倉本恭誓, 安井稔遥, 黒地柊太郎, 田實太陽, 山中敬太, 加藤光, 中村豊, 飯田海地, 安部勇輝, Alessio Morace, 藤岡慎介, 福田祐仁, 早川岳人, 金崎真聡, 時安敦史, C. M. Chu, W. Y. Woon, 郡英輝, 蔵満康浩, 「高強度レーザーを用いたイオン加速における核反応の実験的研究」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-03, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
- ・ 金崎真聡, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 境健太郎, 南卓海, 今亮, 近藤康太郎, 宮坂泰弘, 眞柴雄司, 匂坂明人, 小倉浩一, 小平聡, 田中周太, 諫山翔伍, Pikuz Tatiana, 時安敦史, 郡英輝, 安部勇輝, 蔵満康浩, 山内知也, 桐山博光, 福田祐仁, 「水素クラ

- スターターゲットを用いた MeV 級陽子線の繰り返し発生」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-04, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
- 合原輔佑太, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 「高強度レーザーと水素クラスターとの相互作用による陽子線加速メカニズムの解析」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-05, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 尾崎玲於奈, 苺谷有哉, 近藤康太郎, Pikuz Taiana, Ghenuche Petru, Asavei Theodor, Magureanu Alexandru, Nastasa Viorel, Tudor Lucian, Doria Dominico, 金崎真聡, 山内知也, 福田祐仁, 「固体飛跡検出器を用いた 100 MeV/u を超えるレーザー加速重イオンの同定」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-07, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 山内知也, 福田祐仁, 金崎真聡, 「固体飛跡検出器を用いたレーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, P01-22p-P-14, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 前川馨, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 山内知也, 福田祐仁, 金崎真聡, レーザー駆動イオン加速実験で得られたイオンおよび第二高調波計測結果へのブートストラップ検定の適用, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C06-22a-V-05, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 杉本拓也, 神牧尚希, 卜部賢一, 豊永啓太, 金崎真聡, 福田祐仁, 森芳孝, 松尾一輝, レーザー核融合ならびに高密度プラズマ実験のためのクライオターゲット連続供給装置の開発, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C06-22a-V-05, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 松原広貴, 唐木優河, 山田龍弥, 二階堂颯佳, 安井稔遥, 南卓海, Law King Fai Farley, 瀧澤龍之介, 余語覚文, 安部勇輝, 蔵満康浩, 福田祐仁, 早川岳人, 金崎真聡, 本多巧一, 山ノ井航平, 高橋圭介, 城崎知至, 丸田秀幸, 砂原淳, 飯塚清太, 太田裕朗, 中村修二, 藤岡慎介, 放射化計測に基づく p-B 反応数の定量的評価, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, P01-22p-P-15, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21 - 23 日
 - 東柊斗, 勢一隼人, 金崎真聡, 山内知也, 昇温脱離法による CNZ 試料中に保持された He-3 の検出, 若手フロンティア研究会 2024 研究基盤センター, 神戸大学百年記念館 2024.12.24.
 - 勢一隼人, 東柊斗, 谷池晃, 金崎真聡, 山内知也, 核反応法を用いた CNZ 試料内に保持された He-3 の検出, 若手フロンティア研究会 2024 研究基盤センター, 神戸大学百年記念館 2024.12.24.
 - 山田怜央, 小日向大輔, 貞光俊斗, 木本敦, 勢一隼人, 楠本多聞, 金崎真聡, 小平聡, 藤乗幸子, 山内知也: 極低温照射後のアニーリング過程における PADC 中ヒドロキシル基の生成, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - 木本敦, 勢一隼人, 山田怜央, 小日向大輔, 貞光俊斗, 楠本多聞, 金崎真聡, 小平聡, 石川一平, 山内知也: PADC 検出器の紫外線及びプロトン等の照射効果, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - 勢一隼人, 金崎真聡, 山内知也: 波動方程式を用いた固体飛跡検出器中エッチピット

- 成長挙動についての新しいシミュレーション, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
- ・ 貞光 俊斗, 小日向 大輔, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 金崎 真聡, 小平 聡, 山内 知也, Yvette Ngonon-Ravache, 楠本 多聞: 極低温照射後のアニーリング過程における PADC 中ヒドロキシル基の生成, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - ・ 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 楠本 多聞, 金崎 真聡, 小平 聡, 藤乗 幸子, 誉田 義英, 山内 知也: ガンマ線照射による PADC の構造変化, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - ・ 豊永 啓太, 尾崎 玲於奈, 山内 知也, 福田 祐仁, 杉本 拓也, 金崎 真聡, レーザ駆動イオン加速実験用水素御クラスターターゲットの特性解析, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16-19 日.
 - ・ 前川 馨, 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 山内 知也, 福田 祐仁, 金崎 真聡, 高強度レーザーと水素クラスターターゲットの相互作用におけるレーザープレパルスが陽子線加速に及ぼす効果-II, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16-19 日.
 - ・ 苺谷 有哉, 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 前川 馨, 合原 輔佑太, 山内 知也, 福田 祐仁, 金崎 真聡, レーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16-19 日.
 - ・ 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 前川 馨, 苺谷 有哉, 山内 知也, 金崎 真聡, 福田 祐仁, 固体飛跡検出器を用いたレーザー加速陽子線及び重イオンのエネルギースペクトロメータの開発, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16-19 日.
 - ・ 東 柊斗, 勢一 隼人, 山内 知也, 金崎 真聡, Cu,Ni,Zr 試料中にトラップされた He-3 検出手法の開発, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16-19 日.
 - ・ 蔵満康浩, 南卓海, 草野颯斗, 玉城直也, 北村力丸, 二階堂颯佳, 安部勇輝, T.Pikuz, 時安敦史, 郡英輝, 境健太郎, F, C.M.Chu, K.T.Wu, Y.T.Liao, W.Y.Woon, 有川安信, 余語覚文, A.Morace, 坂和洋一, 藤岡慎介, 小平聡, 羽原英明, 金崎真聡, 福田祐仁, M. Ruskowski, 「高強度レーザーを用いた宇宙線核破碎模擬実験」, 日本物理学会第 79 回年次大会, 16pB111-9, 北海道大学, 2024 年 9 月 16-19 日
 - ・ 南卓海, 二階堂颯佳, 安部勇輝, 黒地柊太郎, 時安敦史, 郡英輝, 田口智也, 境健太郎, 玉城直也, C.M.Chu, Y.T.Liao, W.Y.Woon, L. N. K. Döhl, N.Woolsey, 有川安信, 余語覚文, A.Morace, 坂和洋一, 小平聡, 羽原英明, 金崎真聡, 福田祐仁, 田中周太, 蔵満康浩, 「CR-39 および機械学習を用いたレーザー駆動 100 MeV 超陽子線の計測」, 日本物理学会第 79 回年次大会, 16pB111-10, 北海道大学, 2024 年 9 月 16-19 日
 - ・ 北村力丸, 南卓海, 田口智也, 二階堂颯佳, 境健太郎, 玉城直也, 安部勇輝, C.M.Chu, Y.T.Liao, W.Y.Woon, L. N. K. Döhl, G, N.Woolsey, 有川安信, 余語覚文, A.Morace, 坂和洋一, 羽原英明, 金崎真聡, 時安敦史, 郡英輝, 小平聡, 早川岳人, 福田祐仁, 蔵満康浩, 「金積層グラフェンナノレイヤーターゲットを用いたレーザー駆動準単色陽子線生成実験」, 日本物理学会第 79 回年次大会, 16pB111-11, 北海道大学, 2024 年 9 月 16-19 日
 - ・ 玉城直也, 南卓海, 鈴木蒼一郎, 田口智也, 二階堂颯佳, 北村力丸, 境健太郎, 安部勇輝, C. M. Chu, Y. T. Liao, W. Y. Woon, L. N. K. Döhl, G, N. Woolsey, 有川安信, 余語覚文,

- A. Morace, 坂和洋一, 羽原英明, 金崎真聡, 時安敦史, 郡英輝, 小平聡, 早川岳人, 福田祐仁, 蔵満康浩, 「金積層グラフェンターゲットを用いたレーザー駆動単色陽子加速の最適化」, 日本物理学会第 79 回年次大会, 16pB111-12, 北海道大学, 2024 年 9 月 16-19 日
- 二階堂颯佳, N. Bolouki, 黒地柊太郎, 水田晃, 安部勇輝, 南卓海, 安井稔遥, 倉本恭誓, 北村力丸, 田實太陽, 玉城直也, 大西直文, 福田祐仁, 金崎真聡, W. Y. Woon, Y. L. Liu, C. M. Chu, C. S. Jao, T. Y. Huang, Y. C. Chen, T. Pikuz, E. Filippov, Z. Liu, J. Yao, Z. Ma, Y. Zhang, J. Zhong, 小平聡, 楠本多聞, 境健太郎, 坂和洋一, 蔵満康浩, 「レーザー駆動イオンビームと機械学習を用いた乱流電磁場の再構築」, 日本物理学会第 79 回年次大会, 16pB111-15, 北海道大学, 2024 年 9 月 16-19 日
 - Y. Fukuda, M. Kanasaki, T. Asai, C. Inoue, S. Mochizuki, R. Ozaki, K. Toyonaga, K. Maekawa, T. Minami, K. Sakai, K. Himeno, T. Taguchi, K. Oda, S. Suzuki, F. Nikaido, K. Kuramoto, T. Yasui, S. Isayama, S. Tanaka, A. Tokiyasu, H. Kohri, S. N. Ryazantsev, T. Pikuz, S. Kodaira, T. Yamauchi, Y. Abe, Y. Kuramitsu, A. Kon, K. Kondo, Y. Mashiba, Y. Miyasaka, K. Ogura, A. Sagisaka, and H. Kiriyama, "Effect of a plasma mirror on the interactions of intense laser pulses with micron-scale cluster targets", International Conference on high energy density sciences 2024 (HEDS2024), HEDS10-04, Yokohama, April 22-26th (2024).
 - Y. Kuramitsu, R. Kitamura, N. Tamaki, T. Minami, K. Sakai, T. Taguchi, F. Nikaido, S. Suzuki, Y. Abe, H. Habara, Y. Arikawa, A. Yogo, A. Morace, Y. Sakawa, Y. Fukuda, T. Hayakawa, L. Dohl, N. Woolsey, M. Kanasaki, A. Tokiyasu, H. Kohri, S. Kodaira, S. Isayama, S. Chen, C. Chu, K. Wu, Y. Liao, and W. Woon, "Monoenergetic sub-relativistic ion acceleration with a nanolayer target mounted on large-area suspended graphene", International Conference on high energy density sciences 2024 (HEDS2024), HEDS10-05, Yokohama, April 22-26th (2024).
 - M. Kanasaki, T. Asai, C. Inoue, S. Mochizuki, T. Minami, K. Sakai, K. Himeno, T. Taguchi, K. Oda, S. Suzuki, Y. Abe, H. Kohri, A. Tokiyasu, S. Tanaka, T. Pikuz, S. Kodaira, A. Kon, K. Huang, N. Nakanii, K. Kondo, M. Kando, Y. Mashiba, Y. Miyasaka, K. Ogura, A. Sagisaka, H. Kiriyama, T. Yamauchi, Y. Kuramitsu, and Y. Fukuda, "Repetitive Generation of Laser-driven Quasi-monoenergetic Multi-MeV Protons from Hydrogen Clusters", International Conference on high energy density sciences 2024 (HEDS2024), HEDS13-04, Yokohama, April 22-26th (2024).
 - T. Minami, T. Taguchi, T. Hihara, F. Nikaido, C.M. Chu, K. Sakai, N. Tamaki, S. Soichiro, Y. Abe, H. Habara, Y.T. Liao, L. Doehl, N. Woolsey, Y. Arikawa, A. Yogo, A. Morace, Y. Sakawa, Y.L. Liu, C.S. Jao, T. Pikuz, H. Kohri, A.O. Tokiyasu, S. Kodaira, S. Isayama, H.S. Kumar, N. Ohnishi, N. Saura, S. Benkadda, S. Hamaguchi, N. Watamura, H. Suzuki, M. Kanasaki, Y. Fukuda, W.Y. Woon, and Y. Kuramitsu, "High energy ion diagnostics using CR-39 with the aid of machine learning", 25th Topical Conference on High Temperature Plasma Diagnostics (HTPD 2024), 1.4.29, North Carolina, USA, April 21-25th (2024).
 - T. Yasui, Y. Abe, T. Minami, K. Oda, Z. Lan, H. Kohri, A. O. Tokiyasu, M. Kanasaki, S. Tanaka, S. Isayama, K. Sakai, T. Asai, T. Taguchi, K. Himeno, S. Suzuki, F. Nikaido,

K. Kuramoto, Y. Sakai, T. Tanaka, A. Yogo, S. Kodaira, T. Hayakawa, Y. Fukuda, and Y. Kuramitsu, "High-energy ion diagnostics using a multi-layered scintillation detector for laser-driven ion acceleration experiments", 25th Topical Conference on High Temperature Plasma Diagnostics (HTPD 2024), 1.4.29, North Carolina, USA, April 21-25th (2024).

(山内)

- 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也 : PADC 飛跡検出器に及ぼす 172 nm 紫外線照射効果, 第 72 回応用物理学会春季学術講演会, 東京理科大学野田キャンパス, 2025 年 3 月 16 日.
- 貞光 俊斗, 小日向 大輔, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 金崎 真聡, 小平 聡, 山内 知也, Yvette Ngonon-Ravache, 楠本 多聞 : 極低温その場観察型赤外線分光による PADC 中潜在飛跡形成過程の研究, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也 : PADC 検出器の紫外線及びプロトン等の照射効果, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 能澤 毅成, 木本 敦, 金崎 真聡, 山内 知也 : PADC 飛跡検出器の応答特性における紫外線照射効果, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 山田 怜央, 木本 敦, 勢一 隼人, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 金崎 真聡, 山内 知也, 楠本 多聞, 小平 聡, 藤乗 幸子 : Xe イオン照射 PADC 検出器のバルクエッチング特性に及ぼすガンマ線照射効果, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 山田 怜央, 木本 敦, 勢一 隼人, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 金崎 真聡, 山内 知也, 宮脇 信正 : 30MeV 及び 65MeV 陽子線照射による PADC 中ヒドロキシル基生成挙動, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 勢一 隼人, 金崎 真聡, 山内 知也 : 波動方程式を用いた固体飛跡検出器中エッチピット成長挙動を表すシミュレーションの開発, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 神戸大学, 2025 年 3 月 26 日.
- 合原輔佑太, 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, Ar 液柱ターゲットによるレーザー駆動イオン加速の現状と課題, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-02, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 固体飛跡検出器 CR-39 を用いたレーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-03, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- 川上恭平, 尾崎玲於奈, 苺谷有哉, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 田中龍生, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 固体飛跡検出器 CR-39 を用いたレーザー加速アルゴンイオンの計測, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-04, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- 田中龍生, 豊永啓太, 合原輔佑太, 尾崎玲於奈, 前川馨, 苺谷有哉, 川上恭平, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 高強度レーザーとクラスターターゲットの相互作用領域に対する光学イメージング, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 27-05, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26 - 27 日
- 金崎 真聡, 長谷川 雅彦, 東 柊斗, 勢一 隼人, 平間 駿斗, 山内 知也, 軽水素暴

- 露した Cu-Ni/ZrO₂ 粉末試料の過剰発熱実験, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 26-12, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26-27 日
- 山内知也, 森豊, 東俊斗, 勢一隼人, 長谷川正彦, 谷池 晃, 金崎 真聡, 水素ガスに高温で曝露したジルコニア内に Ni と Cu のナノ合金を分散させた複合材料中における He-3 の検出, 第 37 回固体飛跡検出器研究会, 26-13, 神戸大学深江キャンパス, 2025 年 3 月 26-27 日
 - 金崎真聡, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 境健太郎, 南卓海, 今亮, 近藤康太郎, 宮坂泰弘, 眞柴雄司, 匂坂明人, 小倉浩一, 小平聡, 田中周太, 諫山翔伍, Pikuz Tatiana, 時安敦史, 郡英輝, 安部勇輝, 蔵満康浩, 山内知也, 桐山博光, 福田祐仁, 「水素クラスターターゲットを用いた MeV 級陽子線の繰り返し発生」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-04, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21-23 日
 - 合原輔佑太, 山内知也, 金崎真聡, 福田祐仁, 「高強度レーザーと水素クラスターとの相互作用による陽子線加速メカニズムの解析」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-05, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21-23 日
 - 尾崎玲於奈, 苺谷有哉, 近藤康太郎, Pikuz Taiana, Ghenuche Petru, Asavei Theodor, Magureanu Alexandru, Nastasa Viorel, Tudor Lucian, Doria Dominico, 金崎真聡, 山内知也, 福田祐仁, 「固体飛跡検出器を用いた 100 MeV/u を超えるレーザー加速重イオンの同定」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C10-23a-V-07, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21-23 日
 - 苺谷有哉, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 前川馨, 合原輔佑太, 山内知也, 福田祐仁, 金崎真聡, 「固体飛跡検出器を用いたレーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング」, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, P01-22p-P-14, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21-23 日
 - 前川馨, 尾崎玲於奈, 豊永啓太, 山内知也, 福田祐仁, 金崎真聡, レーザー駆動イオン加速実験で得られたイオンおよび第二高調波計測結果へのブートストラップ検定の適用, レーザー学会学術講演会第 45 回年次大会, C06-22a-V-05, 広島国際会議場, 2025 年 1 月 21-23 日
 - 東柊斗, 勢一隼人, 金崎真聡, 山内知也, 昇温脱離法による CNZ 試料中に保持された He-3 の検出, 若手フロンティア研究会 2024 研究基盤センター, 神戸大学百年記念館 2024.12.24.
 - 勢一隼人, 東柊斗, 谷池晃, 金崎真聡, 山内知也, 核反応法を用いた CNZ 試料内に保持された He-3 の検出, 若手フロンティア研究会 2024 研究基盤センター, 神戸大学百年記念館 2024.12.24.
 - 山田 怜央, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 木本 敦, 勢一 隼人, 楠本 多聞, 金崎 真聡, 小平 聡, 藤乗 幸子, 山内 知也: 極低温照射後のアニーリング過程における PADC 中ヒドロキシル基の生成, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 楠本 多聞, 金崎 真聡, 小平 聡, 石川 一平, 山内 知也: PADC 検出器の紫外線及びプロトン等の照射効果, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024 年 9 月 16 日.
 - 勢一 隼人, 金崎 真聡, 山内 知也: 波動方程式を用いた固体飛跡検出器中エッチピット成長挙動についての新しいシミュレーション, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱

- 鷺メッセ, 2024年9月16日.
- ・ 貞光 俊斗, 小日向 大輔, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 金崎 真聡, 小平 聡, 山内 知也, Yvette Ngono-Ravache, 楠本 多聞: 極低温照射後のアニーリング過程における PADC 中ヒドロキシシル基の生成, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16日.
 - ・ 小日向 大輔, 貞光 俊斗, 木本 敦, 勢一 隼人, 山田 怜央, 楠本 多聞, 金崎 真聡, 小平 聡, 藤乗 幸子, 誉田 義英, 山内 知也: ガンマ線照射による PADC の構造変化, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16日.
 - ・ 豊永 啓太, 尾崎 玲於奈, 山内 知也, 福田 祐仁, 杉本 拓也, 金崎 真聡, レーザ駆動イオン加速実験用水素御クラスターターゲットの特性解析, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16-19日.
 - ・ 前川 馨, 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 山内 知也, 福田 祐仁, 金崎 真聡, 高強度レーザーと水素クラスターターゲットの相互作用におけるレーザープレパルスが陽子線加速に及ぼす効果-II, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16-19日.
 - ・ 苺谷 有哉, 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 前川 馨, 合原 輔佑太, 山内 知也, 福田 祐仁, 金崎 真聡, レーザー加速アルゴンイオンのピンホールイメージング, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16-19日.
 - ・ 尾崎 玲於奈, 豊永 啓太, 前川 馨, 苺谷 有哉, 山内 知也, 金崎 真聡, 福田 祐仁, 固体飛跡検出器を用いたレーザー加速陽子線及び重イオンのエネルギー spektrometa の開発, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16-19日.
 - ・ 東 柊斗, 勢一 隼人, 山内 知也, 金崎 真聡, Cu,Ni,Zr 試料中にトラップされた He-3 検出手法の開発, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 2024年9月16-19日.
 - ・ M. Kanasaki, T. Asai, C. Inoue, S. Mochizuki, T. Minami, K. Sakai, K. Himeno, T. Taguchi, K. Oda, S. Suzuki, Y. Abe, H. Kohri, A. Tokiyasu, S. Tanaka, T. Pikuz, S. Kodaira, A. Kon, K. Huang, N. Nakanii, K. Kondo, M. Kando, Y. Mashiba, Y. Miyasaka, K. Ogura, A. Sagisaka, H. Kiriyama, T. Yamauchi, Y. Kuramitsu, and Y. Fukuda, "Repetitive Generation of Laser-driven Quasi-monoenergetic Multi-MeV Protons from Hydrogen Clusters", International Conference on high energy density sciences 2024 (HEDS2024), HEDS13-04, Yokohama, April 22-26th (2024).
 - ・ Y. Fukuda, M. Kanasaki, T. Asai, C. Inoue, S. Mochizuki, R. Ozaki, K. Toyonaga, K. Maekawa, T. Minami, K. Sakai, K. Himeno, T. Taguchi, K. Oda, S. Suzuki, F. Nikaido, K. Kuramoto, T. Yasui, S. Isayama, S. Tanaka, A. Tokiyasu, H. Kohri, S. N. Ryazantsev, T. Pikuz, S. Kodaira, T. Yamauchi, Y. Abe, Y. Kuramitsu, A. Kon, K. Kondo, Y. Mashiba, Y. Miyasaka, K. Ogura, A. Sagisaka, and H. Kiriyama, "Effect of a plasma mirror on the interactions of intense laser pulses with micron-scale cluster targets", International Conference on high energy density sciences 2024 (HEDS2024), HEDS10-04, Yokohama, April 22-26th (2024).

(谷池)

- ・ 谷池晃, 尾崎英梨子, 大神侑己, 神戸大タンデム加速器の現状 2024, タンデム加速器及びその周辺技術の研究会, 理化学研究所 (和光市), 2024年06月27日

- ・ 勢一隼人, 東柊斗, 谷池晃, 金崎真聡, 山内智也, 核反応法を用いた CNZ 試料内に保持された He-3 検出, 若手フロンティア研究会 2024, 研究基盤センター, 2024 年 12 月 24 日
- ・ 呑口玄太, 谷池晃, イオンビームで照射した PTFE の表面画像解析, 若手フロンティア研究会 2024, 研究基盤センター, 2024 年 12 月 24 日
- ・ 小西玄基, 谷池晃, タンデム加速器を用いた MCP の重イオンエネルギー特性, 若手フロンティア研究会 2024, 研究基盤センター, 2024 年 12 月 24 日
- ・ 上月智史, 城本啓太, 浦田尚宏, 谷池晃, 高エネルギーガンマ線イメージングにおけるコリメータシステムの性能向上, 若手フロンティア研究会 2024, 研究基盤センター, 2024 年 12 月 24 日

海洋基礎科学

(蔵岡)

- ・ 山田慎一郎, 蔵岡孝治: 窒化ホウ素を分散した有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製, 日本包装学会第 33 回年次大会, 2024.8
- ・ 蔵岡孝治, 池康平: グラフェン分散ポリアクリロニトリル/シリカ有機-無機ハイブリッドガスバリア膜のガスバリア特性, 日本包装学会第 33 回年次大会, 2024.8
- ・ 西牧陸, 蔵岡孝治: 大気圧プラズマ化学蒸着法による有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製と膜特性評価, 日本包装学会第 33 回年次大会, 2024.8
- ・ 恵美こころ, 蔵岡孝治: ポリ塩化ビニリデンを用いた有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製とその特性評価, 日本包装学会第 33 回年次大会, 2024.8
- ・ 池田真吾, 村上知弘, 蔵岡孝治: 上限臨界溶液温度 (UCST) 型高分子を用いた温度応答性ガスバリア膜の作製, 日本包装学会第 33 回年次大会, 2024.8
- ・ 蔵岡孝治, 石村翔, 高宮悠暉: 無機-有機ハイブリッド船底塗料の作製とその特性, 日本セラミックス協会第 37 回秋季シンポジウム, 2024.9
- ・ 蔵岡孝治: ポリ乳酸/シリカ有機-無機ハイブリッドガスバリア膜の作製とその膜特性, 第 63 回セラミックス基礎科学討論会, 2025.1, 招待講演
- ・ 松村海志, 蔵岡孝治: 有機構造規定剤を用いた有機-無機ハイブリッド二酸化炭素分離膜の作製とその特性評価, 第 63 回セラミックス基礎科学討論会, 2025.1

(上田)

- ・ 上田好寛, Dissipative structure for the scalar viscous conservation law with a delay, 研究集会「臨界型数理モデルの解析と展望」, 愛媛大学, 2025.3.
- ・ 上田好寛, Nonlinear stability for the scalar viscous conservation laws with delay effect, 日本数学会 2025 年度年会, 早稲田大学, 2025.3.
- ・ 上田好寛, Linear stability for the scalar viscous conservation laws with delay effect, 2 日本数学会 2025 年度年会, 早稲田大学, 2025.3.
- ・ 上田好寛, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous conservation laws with delay, OCAMI 共同研究(一般 B)「反応拡散方程式と非線形分散型方程式の解の挙動」, 大阪公立大学, 2025.2.
- ・ Yoshihiro Ueda, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous conservation laws with delay effect, The 14th AIMS Conference, ADNEC Centre Abu Dhabi, Abu

- Dhabi, UAE, 2024.12.
- Yoshihiro Ueda, Stability of stationary solutions for viscoelastic fluids in half-space, The 14th AIMS Conference, ADNEC Centre Abu Dhabi, Abu Dhabi, UAE, 2024.12.
 - 上田好寛, 時間遅れ項を含む単独粘性保存則における任意の平衡解に対する安定性解析, RIMS 共同研究(公開型)「時間遅れ系と数理科学: 理論と応用の新たな展開に向けて」, 京都大学数理解析研究所, 2024.11.
 - Yoshihiro Ueda, Stability Analysis for the Viscous Burgers Equation with Delay, 2024年9月24日(水) 11:30~11:50 (20分), 18th IFAC Workshop on Time Delay Systems(TDS2024), Castello di Udine, Udine, Italy, 2024.9.
 - Yoshihiro Ueda, Asymptotic stability of stationary solutions for viscoelastic fluids in half spac, An afternoon on delay differential equations, Gran Sasso Science Institute (GSSI), Italy, 2024.9.
 - Yoshihiro Ueda, Stability analysis of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with time delay, Italian-Japanese Workshop on Variational Perspectives for PDEs, University of Pavia, Pavia, Italy, 2024.9.
 - Yoshihiro Ueda, Stability theory for the linear symmetric hyperbolic system with relaxation, Analysis of Dissipation in Inviscid and Compressible Fluid Dynamics, University of Konstanz, Konstanz, Germany, 2024.6.
 - Yoshihiro Ueda, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with delay, Oberseminar Partielle Differentialgleichungen, University of Konstanz, Konstanz, Germany, 2024.5.
 - Yoshihiro Ueda, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with delay effect, International Conference on Elliptic and Parabolic Problems: GAETA 2024, Hotel Serapo, Gaeta, Italy, 2024.5.

(ゴメス)

- Gomez, C., Horie, H. 2024. Microplastics Generation in the Sediment Cascade: Experimental Analysis from the Sumiyoshi River Urban Catchment, Kobe City, Japan. Japan Geoscience Union Meeting 2024. AHW25-P05 (Abs).
- Gomez, C., Liu, J., Wu, J. 2024. High-Resolution UAV Photogrammetry and Laser-Scanning Combined with Ground Penetrating Radar to assess the complex interaction of the Tottori Sand-dune and the Vegetation. Japan Geoscience Union Meeting 2024. HTT14-P08. (Abs).
- Gomez, C., Bradak, B. 2024. Tsunami deposits and Anthropogenic Debris in Coastal Deposits 10 years after the 2011 Tsunami – Combined UAV Photogrammetry, LiDAR and Ground-Penetrating Radar Investigation. Japan Geoscience Union Meeting 2024. HTT14-P07. (Abs).
- Gomez, C., Koi, T., Hotta, N. 2024. The 2018 Iburi Co-seismic Landslides, Assessing the slipping planes beyond Topographic Data: High-Resolution uav-based Topography and Subsurface Geophysics. Japan Geoscience Union Meeting 2024. HTT14-P06 (Abs).
- Hayakawa, Y.S., Gomez, C., Watanabe, T., Wang, T., Kobayashi, Y., Inomata, M., Sakai,

- T., Imagawa, S. 2024. Effects of ground-contacting gears on footprint-induced trail surface deformation. Japan Geoscience Union Meeting 2024. HTT14-P05. (Abs)
- Daikai, R., Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. Spatio-temporal analysis of displacement and precipitation of Unzen Fugendake lava dome using GBSAR and XRAIN. Japan Geophysical Union Meeting 2024. HTT14-01. (Abs)
 - Daikai, R., Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. Rainfall-induced Gravity Movement of the Unzen-Fugendake Volcanic Dome: Analysis combining Ground-Radar Interferometry and XRAIN Rainfall Radar System. IOP Conference Series: Earth and Environmental Science 1313, 012026 (PR, CP)
 - Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. SWE Modelling of Debris-flow body-sedimentation and Tail-flow Remobilization in a Check-dam Controlled Gully (Unzen Volcano, Japan) using LiDAR, SfM-MVS. IOP Conference Series: Earth and Environmental Science 1313, 012024. (PR, CP)
 - Daikai, R., Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. Uncertainty in measuring the role of climate change on debris-flow triggering on volcanoes: bulk-density, temperature and moisture analysis at Unzen Volcano (Japan) IOP Conference Series: Earth and Environmental Science 1314, 012065. (PR, CP)
 - Gomez, C., Shimizu, M., Kinoshita, H. 2024. Large wood remobilization in Asakura (North Kyushu, Japan): Adapting strategies to climate change and rural population depletion. IOP Conference Series: Earth and Environmental Science 1314, 012063. (PR, CP)

(井尻)

- 長谷川 風華, 井尻 暁, 中國 正寿, 岸本 浩二, 山口 一岩, 近藤 文義, 小豆島沖海底の謎の気泡湧出現象: メタン同位体分析による発生要因の解明. 沿岸海洋研究集会, 香川大学, 2024.12.
- 岩原 ほか, 井尻 暁, 村山 雅史, 山本 裕二, 山本 哲也, 廣瀬 丈洋, 木村 淳, 中川 栄, 島田 彰広, 中村 璃子, 谷川 亘, 桧原湖湖底遺跡(桧原宿跡)の堆積物コア解析による遺跡の水没過程と湖の環境変遷の調査. 第10回地球環境史学会年会, 極地研究所, 2024.11.29.
- 近谷 優毅, 井尻 暁, 松井 洋平, 石橋 純一郎, 炭化水素ガスの炭素安定同位体比を指標とした八丁原地熱地帯の地化学調査. 日本地熱学会令和6年東京大会 2024.11.26
- 山田 貫太郎, 土岐 知弘, 大塚 宏徳, 板木 拓也, 村山 雅史, 井尻 暁, 日向灘・種子島沖・喜界島沖海底泥火山表層堆積物中の流体の起源. 2024年度日本地球化学会第71回年会, 金沢大学, 2024.9.
- 吉崎 結衣, 岡村 慶, 野口 拓郎, 八田 万有美, 星野 辰彦, 竹内 誠, 板木 拓也, 遠山 早紀, 小林 祐大, 塚原 佳穂, 山下 廉太郎, 乙坂 重嘉, 井尻 暁, 海底泥火山群からの溶存態有機物および栄養塩の放出. 2024年度日本地球化学会第71回年会, 金沢大学, 2024.9.
- 石川 圭一郎, 山口 耕生, 奥村 知世, 井尻 暁, イメージング質量顕微鏡で解き明かす太古代の酸素発生型光合成の証拠. 日本地質学会第131年学術大会, 山形大学, 2024.9.
- 中西 諒, 成瀬 元, 喜岡 新, 常岡 廉, 根本 夏林, 藤島 誠也, 佐藤 瑠晟, 天野 敦子,

- 井尻 暁, 横山 祐典, 喜界島周辺海域における観測地震によるタービダイト層検出の試み—KS-24-4 次航海の調査速報—. 日本地質学会第 131 年学術大会, 山形大学, 2024.9.
- Yudai Kobayashi, Akira Ijiri, Upward migration of biogenic methane near the frontal thrust in the Nankai Trough. Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes, Beppu, Oita, 2024.9.
 - Kanji Tatsumi, Akira Ijiri, Ryu Uemura, Makoto Otsubo, Minoru Ikehara, Asuka Yamaguchi, Origin of fluid along a plate boundary seismogenic zone estimated by hydrogen and oxygen isotopic compositions of water in fluid inclusion of quartz veins at the Nobeoka Thrust, Southwest Japan. Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes, Beppu, Oita, 2024.9.
 - 加藤 悠爾, 井尻 暁, 池原 実, 南大洋大西洋セクターで採取された黄金色藻シスト. 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 近谷 優毅, 井尻 暁, 松井 洋平, 石橋 純一郎, 炭素安定同位体組成から推定する九州八丁原地熱地帯の炭化水素ガスの起源. 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 山口 飛鳥, 福地 里菜, 濱田 洋平, 高下 裕章, 川村 喜一郎, 井尻 暁, 奥田 花也, 浜橋 真理, 照井 孝之介, 細川 貴弘, 辰巳 寛二, 芦 寿一郎, 笠谷 貴史, 木下 正高, 亀尾 浩司, 久保田 好美, 辻 健, 白石 和也, 木村 学, 潮岬海底谷の潜航調査に基づく南海付加体発達史の更新と大地震セグメント境界の地質学的実態解明:「よこすか」YK23-10S 航海報告. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 土岐 知弘, 宮城 裕, 平良 優佳, 宮里 香江, 鹿児島 涉悟, 井尻 暁, 宮嶋 佑典, 新城 竜一, 大坪 誠, 木下 正高, KH-23-11 乗船研究者一同, 南部沖繩トラフ背弧海盆における表層堆積物中の間隙水の化学的及び同位体的特徴. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 辰巳 寛二, 井尻 暁, 植村 立, 大坪 誠, 池原 実, 山口 飛鳥, 延岡衝上断層周辺に分布する石英脈流体包有物の水の水素・酸素同位体分析による地震性分岐断層深部の水の起源と挙動の解明. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 宮嶋 佑典, 阪井 康真, 井尻 暁, 山岡 香子, 荒岡 大輔, 井川 怜欧, 吉岡 秀佳, 間隙水 Li 同位体比を用いた日本海メタンハイドレート分布域での深部流体検出. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 山田 貫太郎, 土岐 知弘, 大塚 宏徳, 板木 拓也, 村山 雅史, 井尻 暁, 日向灘・種子島沖・喜界島沖海底泥火山表層堆積物中の流体の起源. 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 阪井 康真, 井尻 暁, 宮嶋 佑典, 吉岡 秀佳, 越沖メタンハイドレート胚胎域における間隙水の高 Cl 濃度異常. 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 吉崎 結衣, 星野 辰彦, 松井 洋平, 川口 慎介, 竹内 誠, 岡村 慶, 野口 拓郎, 乙坂 重嘉, 井尻 暁, 海底泥火山群からの溶存態有機物および栄養塩の放出. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 奥村 知世, 井尻 暁, 齋藤 大樹, 山口 耕生, Mapping cyanobacterial biomarkers in modern hot spring stromatolites by MALDI-TOF/MS imaging method. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 大塚 宏徳, 井尻 暁, 中西 諒, 福地 里菜, 星野 辰彦, 土岐 知弘, 板木 拓也, 北田 数

- 也, 浅田 美穂, 中尾 眞子, 鈴木 由布, 波多野 泰成, 松下 誠, 辰巳 寛二, 吉本 剛瑠, KH-23-4 乗船研究者, 喜界島～日向灘における泥火山分布 -白鳳丸 KH-23-4 地物調査速報. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
- 福地 里菜, 趙 陽, 井尻 暁, 板木 拓也, 吉本 剛瑠, 山口 飛鳥, 村山 雅史, 大塚 宏徳, 土岐 知弘, 星野 辰彦, KH-23-4 乗船研究者, KH-23-4 航海で採取された西南海トラフおよび琉球海溝北部の泥火山噴出物の空隙率. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 渡部 裕美, 山本 志乃, Wong Kingsley, Tong Wei, 服部 俊平, 森田 亜美, 井尻 暁, 琉球海溝・南海トラフ域海底泥火山群におけるプランクトン分布調査. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.
 - 星野 辰彦, 土岐 知弘, 野口 拓郎, 芦 寿一郎, 村山 雅史, 井尻 暁, Discharge and dispersal of deep sub-seafloor microorganisms from mud volcanoes into ocean. 地球惑星科学連合 2024 年大会, 幕張, 2024.5.

(岩田)

- 岩田高志, 赤松友成. バイオロギングによる海洋の課題解決: Internet of Animals (IoA) の発展に向けて. 日本生態学会第 72 回全国大会. 札幌, 2025 年 3 月
- 荒木陸秀, 木村里子, 小川真由, 袖山修史, 酒井海里, 伊東隆臣, 岩田高志. 大阪湾における水中マイクを用いた小型鯨類の来遊状況に関する研究. 日本生態学会第 72 回全国大会. 札幌, 2025 年 3 月
- 小川雄大, 岩田高志, 青木かがり, Christian RAMP, Michael WILLIAMSON, Joanna KERSHAW, Patrick J.O. MILLER, 佐藤克文. カナダ・セントローレンス湾のザトウクジラの同調行動に関する研究. 日本生態学会第 72 回全国大会. 札幌, 2025 年 3 月
- 山中純鈴, 山梨裕美, 星野智, 岩田高志. アジアゾウにおける採食エンリッチメント. 日本生態学会第 72 回全国大会. 札幌, 2025 年 3 月
- 岩田高志. 「海生哺乳類研究よろず屋: クジラもイルカもアザラシもオットセイも. バイオロギングもドローンも食性も環境 DNA も水中マイクも。」2024 年度勇魚会シンポジウム, 東京科学大学大岡山キャンパス, 東京, 2024 年 12 月 21 日 (招待講演)
- Matsumoto T., Ogawa M., Kimura S. S., Akamatsu T., Iwata T. Is co-existence possible between dolphins and human activities? Dolphin presence during nori cultivation period in Osaka Bay, Japan. The 25th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals. Perth, Australia (November 2024)
- Komeda M., Isokawa T., Aoki K., Tsujii K., Sato K., Sakamoto Q. K., Iwata T., Kobayashi H., Amano M., Kamiura N. An identification system for sperm whales (*Physeter macrocephalus*) based on deep neural networks. International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems 2024. Hyogo, Japan (November 2024)
- 岩田高志. 「人間活動によって生まれたヒゲクジラ類の採餌行動」第 19 回日本バイオロギング研究会シンポジウム, 神戸大学深江キャンパス, 神戸, 2024 年 10 月 12 日 (招待講演)
- 大谷健太郎, 谷口真理, 竹田正義, 岩田高志. 野外におけるミシシippiaアカミミガメの産卵行動の検出. 第 19 回日本バイオロギング研究会シンポジウム. 神戸, 2024 年 10 月
- 名部井愛里菜, 岩田高志, 佐藤克文, 渡辺伸一, 大澤輝夫. Biologging intelligent Platform

(BiP) による海上推定風の精度検証. 第 19 回日本バイオリギング研究会シンポジウム. 神戸, 2024 年 10 月

- ・ 町野美沙希, 伊東隆臣, 喜屋武樹, 岩田高志. なぜジンベエザメは咳をするのか? 第 19 回日本バイオリギング研究会シンポジウム. 神戸, 2024 年 10 月
- ・ 横倉辰之介, 大谷健太郎, 鷺尾尚輝, 岩田高志. 淡水性カメ類のナビゲーション能力の検証. 第 19 回日本バイオリギング研究会シンポジウム. 神戸, 2024 年 10 月
- ・ Sato K., Watanabe S., Noda T., Koizumi T., Iwata T., Nabei E., Kuwano-Yoshida A. Animal-borne devices provide environmental physical data via “Biologging intelligent Platform (BiP)” The 6th WCRP International Conference on Reanalysis. Tokyo, Japan (October 2024)
- ・ 岩田高志. 「海洋動物の生態を探る」Academia ESPERS 第 2 回環境学フォーラム, 芦屋市民センター, 芦屋, 2024 年 8 月 17 日 (招待講演)
- ・ 須之内朋哉, 後藤哲智, 岩田高志, 田島木綿子, 山田格, 国末達也. 大阪湾に生息するスナメリを対象とした海洋プラスチックと餌生物を介した有機ハロゲン化合物取込量の推定と生物濃縮性の評価. 日本セトロロジー研究会第 34 回 (黒潮町) 大会. 高知, 2024 年 6 月

(藤原)

- ・ 藤原泰, 海洋物理分野における波と流れの相互作用, 名古屋大学宇宙地球環境研究所共同利用研究集会「海洋波および大気海洋相互作用に関するワークショップ」, 2025 年 3 月 3 日.
- ・ 藤原泰, 不規則波を通じた大気海洋間運動量輸送の直接数値計算, 第 38 回数値流体力学シンポジウム, 2024 年 12 月 11 日.
- ・ 藤原泰, 風波の発達と運動量フラックスについて - 直接数値計算の初期解析結果 -, 愛媛大学 LaMer 2024 年度共同利用研究集会「海洋乱流の観測およびモデリングに関する研究集会」, 2024 年 11 月 28 日.
- ・ 藤原泰, 風波の発達と運動量フラックス, 海洋の統合的理解に向けた新時代の力学理論の構築, 2024 年 10 月 9 日.
- ・ Yasushi Fujiwara, Yoshimasa Matsumura, Numerical study of the wave-induced mass transport and consequent counter-current response in the coastal ocean, the 14th International Workshop on Modeling the Ocean, 2024 年 6 月.
- ・ 藤原泰, 松村義正, 波浪に伴う海水輸送と反流応答 (2): 回転系における応答, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 2024 年 5 月 26 日.
- ・ 佐野朝昭, 門安曇, 麻生裕司, 中尾徹, 永山龍之介, 田中仁, 大澤輝夫, 藤原泰, むつ小川原試験サイトにおける小型係留式海象観測ブイ Spotter の波浪・風況の精度検証, 第 46 回 風力エネルギー利用シンポジウム, 2024 年 11 月 29 日.
- ・ 小平翼, 早稻田卓爾, 藤原泰, 君塚政文, 勝野智嵩, 川口悠介, 野瀬毅彦, 藤原周, 北極海カナダ海盆の海氷縁付近におけるメゾスケール渦とサブメゾスケール渦, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 2024 年 5 月 30 日.
- ・ 福本剛史, 藤原泰, LES を用いた浮遊物水平輸送の混合層深度による影響評価, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, 2024 年 5 月 26 日.
- ・ Takuji Waseda, Yasushi Fujiwara, Xingkun Xu, Tak Nose, Tsubasa Kodaira, Short-term wave and ice forecast for navigation assistance in the Arctic Ocean, The 5th

workshop on waves and wave-coupled processes, 2024年4月11日.

(貝野)

- ・ 貝野友祐, 確率偏微分方程式モデルのパラメータ推定とその応用, データサイエンスにおける統計的理論の展開研究, 静岡, 2025年1月.

6. 国際会議や研究集会の主催・共催

海洋・気象学

- ・ 長崎海洋アカデミー 風況海象観測・解析と発電量予測コース, 2024年9月10-11日, 2025年3月4-5日, 主催(講師)(大澤)
- ・ 第17回マリンハザード研究会, 2025年3月6日, 主催(林)(オンライン)
- ・ Japan Geoscience Union Meeting 2024, [H-CG26] 農業残渣焼却のもたらす大気汚染と健康影響および解決への道筋 セッションコンビナー(山地), 幕張メッセ, 2024年5月26日
- ・ 第29回大気化学討論会, 大会実行委員長(山地), 神戸大学統合研究拠点コンベンションホール, 2024年10月9-11日
- ・ 2024年度 大気環境学会近畿支部研究発表会, 主催・学術委員会(山地), 大阪公立大学 I-site なんば, 2024年12月26日

海洋安全工学

- ・ Joint Seminar of Ship Data Science in KMOU, Korea Maritime & Ocean University, 2025年10月21日, 共催: 講師(笹), 韓国海洋大学校

放射線・粒子ビーム科学

- ・ 第37回固体飛跡検出器研究会, 2025年3月26&27日, 主催(金崎・山内)(神戸大学深江キャンパス)

海洋基礎科学

- ・ 神戸解析セミナー, (2024.4.16, 2024.5.14, 2024.6.11, 2024.7.11, 2024.10.15, 2024.11.7, 2024.11.19, 2024.12.5, 2025.1.14, 2025.2.4.), 主催(上田)
- ・ 日本海洋学会 2024年秋季大会「海洋数値モデリング: 先進モデル・大循環モデルからデータ同化まで」セッション 共同コンビナー(藤原)
- ・ 日本海洋学会 2024年秋季大会「海洋若手ナイトセッション」代表コンビナー(藤原)
- ・ 2024年度 第19回日本バイオリギング研究会シンポジウム, 神戸大学深江キャンパス梅木Yホール, 2024年10月12-13日, 主催(岩田)

7. 外部資金獲得状況(代表者)

水環境学

- ・ 光抗酸化活性評価法の構築と天然抗酸化剤の活性測定（科研費基盤研究 C）（堀田）
- ・ 付着期幼生の複眼が視覚する光で防汚場所から誘導しフジツボ付着を防ぐ新規方法の開発（科研費基盤研究 C）（三村）
- ・ 化学物質の有害性を予測・毒性評価する新規バイオマーカーの探索とその応用（科研費基盤研究 B）（堀江）
- ・ 閉鎖性海域 大阪湾をモデルケースにした MP の生態リスク評価（第 13 期「日化協 LRI（長期自主研究）」）（堀江）
- ・ メダカを用いた甲状腺ホルモンかく乱物質の検出試験法の開発（環境研究総合推進費 革新型研究開発（若手枠））（堀江）
- ・ 水環境中におけるプラスチック添加剤の残留濃度調査・生態リスク評価に向けた国際研究ネットワークの構築（クリタ水・環境科学振興財団 ネットワーク構築助成）（堀江）

海洋・気象学

- ・ 気象場と風車空力場の相互作用を考慮した日本沿岸に適した洋上 WF デザインの提案（科研費：基盤研究 B）（大澤）
- ・ メソ気象モデル WRF を用いた高解像度年間風況シミュレーション（受託研究：非公開）（大澤）
- ・ 風力開発のための風況調査技術の高度化（共同研究：レラテック(株)）（大澤）
- ・ 洋上における風況シミュレーションの実施（共同研究：非公開）（大澤）
- ・ WRF による高解像度風況シミュレーションに関する研究（共同研究：非公開）（大澤）
- ・ むつ小川原港風況観測設備を利用した気象・海象観測技術の開発と試験サイトの構築・運用（共同研究：むつ小川原海洋気象観測センター）
- ・ 津波発生時のマリンハザード把握とその先の予測（J R 西日本あんしん社会財団）（林）
- ・ 瀬戸内海の生物生産環境における過去半世紀の変遷が海洋二酸化炭素動態に与えた影響（アサヒグループ財団）（林）
- ・ 海洋環境を支配する流動場の観測と数値計算（マリンハザード研究）（2024 年度神戸大学都市安全研究センター共同利用，共同研究費）（林）

海洋安全工学

- ・ オーシャンフリートモニタリングシステムの設計と運用による海上コンテナの安全管理（令和 6 年度戦略事業推進費・ミッション実現戦略分）（笹）
- ・ 実海域における船体動揺特性の実験研究（三井造船昭島研究所）（笹）

放射線・粒子ビーム科学

- ・ 新水素エネルギーの革新（熱・電気エネルギー技術財団）（金崎）
- ・ クライオターゲットに関する研究（共同研究）（金崎）
- ・ 新水素エネルギー（共同研究）（山内）
- ・ 水素雰囲気中発熱材料（受託研究）（山内）
- ・ 高分子系飛跡検出器内の放射線損傷形成機構（令和 6 年度物質・デバイス領域共同研究課題）（山内）
- ・ 損失粒子誘起ガンマ線イメージングのためのコーディッドアパーチャーシステム開発（核融合科学研究所 一般共同研究）（谷池）
- ・ LHD-HIBP システムに用いる MCP 検出器増幅率の時間変化に関する研究（核融合科

学研究所 一般共同研究) (谷池)

海洋基礎科学

- ・ バイオミメティック有機-無機ハイブリッド船底塗料の創製と新規摩擦抵抗測定法の確立 (科学研究費基盤研究 (C)) (蔵岡)
- ・ 分離膜等に関する学術指導 (蔵岡)
- ・ 電解質膜に関する共同研究 (蔵岡)
- ・ 消散構造を持つ非線形偏微分方程式系における安定性理論の構築 (科学研究費 基盤研究 (C)) (上田)
- ・ 弱い消散構造を持つ偏微分方程式系における安定性理論の新たな展開 (科学研究費 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))) (上田)
- ・ 海底泥火山活動が繋ぐ地圏-水圏-生命圏: 深部生命・炭素の海洋拡散過程とその影響, 基盤研究 (A) (神戸大学 井尻)
- ・ メタン・二酸化炭素凝集同位体温度指標を応用した新しい地化学地熱探査手法の開発, 挑戦的研究 (萌芽) (神戸大学 井尻)
- ・ 風と波の非平衡状態における大気海洋相互作用の数値的研究 (科学研究費 若手研究) (藤原)
- ・ 波浪による海水輸送と反流応答の力学の解明 (科学研究費 学術変革領域 (A) 公募研究) (藤原)
- ・ 洋上風力開発のための海象関連技術の高度化 (共同研究 レラテック (株)) (藤原)
- ・ むつ小川原 Spotter ブイ観測値に関する波浪モデル UMWM および WW3 による比較検証 (共同研究 国際気象海洋 (株)) (藤原)

8. 外部資金獲得状況 (分担者)

水環境学

- ・ 魚類急性毒性試験の動物福祉に配慮した試験への転換に向けた研究 (環境研究総合推進費 環境問題対応型研究, 代表: 国立環境研究所 山岸隆博) (堀田)
- ・ 液液光導波路分光法とその CFD 解析による, 混じり合う液液界面での化学反応解析 (科学研究費基盤研究 C, 代表: 神戸大学 角田欣一) (堀田)
- ・ 付着期幼生の複眼が視覚する光で防汚場所から誘導しフジツボ付着を防ぐ新規方法の開発 (科学研究費基盤研究 C, 代表: 神戸大学 三村治夫) (堀田)
- ・ ヘアドライヤーのイオナイザーが紙に及ぼす影響 (共同研究, 日本アムウェイ合同会社, 代表: 神戸大学 辻野義雄) (堀田)
- ・ 縮毛矯正技術の開発共同研究 (共同研究, ロート製薬 (株), 代表: 神戸大学 辻野義雄) (堀田)

海洋・気象学

- ・ 外気変動による海上輸送中の多段積みコンテナ内部の三次元熱流動と高精度な汗濡れ予測 (科研費: 基礎研究 C) (代表: 防衛大学校 川原秀夫) (大澤)

- ・ 領域化学輸送モデル間の相互比較に基づく大気質改善予測の信頼性向上（科学研究費基盤 B, 代表：国立環境研究所 茶谷 聡）（山地）
- ・ 燃焼起源 SLCF の東アジア国別排出量の迅速把握と方法論構築（環境研究総合推進費, 代表：国立環境研究所 谷本浩志）（山地）

海洋安全工学

- ・ 津波の来襲に備えた港湾内の巨大船および専用棧橋における新しい安全管理システム（科学研究費・基盤研究 C）（代表：大島商船高等専門学校 木村安宏）（笹）
- ・ 外気変動による海上輸送中の多段積みコンテナ内部の三次元熱流動と高精度な汗濡れ予測（科学研究費・基礎研究 C）（代表：防衛大学校 川原秀夫）（笹）

放射線・粒子ビーム科学

- ・ 放射線防護体系に関する科学史・科学論的研究から市民的観点による再構築へ（科学研究費 基盤 B）（東京海洋大学 柿原泰）（山内）

海洋基礎科学

- ・ 線形領域を越えた非平衡系の特異性を記述する発展方程式と非局所非線形解析学の展開（科学研究費 基盤研究 A）（東北大学 赤木剛朗）（上田）
- ・ 曲率流に対する閾値型近似アルゴリズムとそれを用いた広義解の性質の研究（科学研究費 基盤研究 C）（神戸大学 石井克幸）（上田）
- ・ 海底下生命から解き明かす生命の極限とその適応, 基盤研究 (A) (海洋研究開発機構 諸野祐樹) (井尻)
- ・ 桧原湖水中遺跡と水没をもたらした火山災害の全容解明（科学研究費 基盤研究 (A)）（海洋研究開発機構 谷川亘）（井尻）
- ・ 非晶質シリカの構造特性が酸素安定同位体温度計に与える影響（科学研究費 基盤研究 (C)）（大阪教育大学 堀真子）（井尻）

9. 招聘した外国人研究者

- ・ Chen Chen, Wuhan University of Technology, China, 2024 年 7 月 30 日～8 月 3 日（笹）
- ・ Dr. JUAN Rios Manuel, IMBECU (CCT-CONICET), Argentina, 2024 年 8 月 26 日～2024 年 9 月 28 日（堀江）

10. 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）

水環境学

【受賞】

- ・ Keiichi Fukushi, Jun-ichi Tsujimoto, Hiroki Hotta, Hideo Okamura, Hideyuki Inui

- Salt and Seawater Sci. & Tech., 4, 15-19 (2024). DOI:10.11457/ssst.4.0_15 海水学会
Salt and Seawater Science & Technology 誌, 2023 年度最優秀論文賞受賞
- ・ 前多香穂, ポータブル元素分析装置によるフローインジェクションを用いた海水の主要元素分析, 優秀講演賞, 第 60 回フローインジェクション分析講演会, 2024.11.13. (堀田)
 - ・ Sorai Kanno, Reaction mechanism of polyphenols containing reactivating meta-dihydroxybenzene moiety, Excellent Poster Award, The International Meeting of the Polarographic Society of Japan Nov. 16-17, 2024. (堀田)

【委員等】

- ・ Editorial Board, Toxics (岡村)
- ・ Review Editor in Marine Pollution, Frontiers in Marine Science/ Frontiers in Environmental Science (岡村)
- ・ Editorial Board Member, Environmental Monitoring and Contaminants Research (岡村)
- ・ Scientific Committee Member, 11th International Conference on Environmental Management, Engineering, Planning and Economics (CEMEPE2024) and SECOTOX Conference (岡村)
- ・ Scientific Committee Member, 21th International Symposium on Toxicity Assessment (ISTA21) (岡村)
- ・ 環境省環境研究総合推進費 1-2301 アドバイザー (岡村)
- ・ 日本環境毒性学会幹事 (岡村)
- ・ 神戸市環境影響評価審査会委員 (岡村)
- ・ 環境省生態リスク評価分科会委員 (岡村)
- ・ 中国揚州大学客員教授 (岡村)
- ・ Vice Editor in Chief of Analytical Sciences, published by Springer Nature (堀田)
- ・ 日本分析化学会近畿支部常任幹事 (堀田)
- ・ 日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会英文誌 Journal of Flow Injection Analysis 編集委員 (堀田)
- ・ 日本ポーラログラフ学会, 理事 (堀田)
- ・ 日本ポーラログラフ学会, 評議員 (堀田)
- ・ 電気化学会近畿支部幹事 (堀田)
- ・ Journal of Applied Toxicology (JAT) , Editorial Advisory Board (堀江)
- ・ Water, Air, & Soil Pollution, Associate Editors (堀江)

海洋・気象学

【受賞】

- ・ 優秀発表賞, 凍結乱流仮説を適用した鉛直ライダーによる乱流強度計測, 第 46 回日本風力エネルギー利用シンポジウム, 2024.11.29, ビジョンセンター新橋, 新谷達哉 (指導教員: 大澤)
- ・ 優秀発表賞, WRF と特別ベクトル補正を用いた沿岸風況推定に関する研究: 観測値の代表性を考慮した手法の拡張の初期検討, 第 46 回日本風力エネルギー利用シンポジウム,

2024.11.29, ビジョンセンター新橋, 圓尾太朗 (指導教員: 大澤)

- 2024 年度 大気環境学会近畿支部研究発表会 ベストプレゼン賞, 衛星観測と地上観測間にみられるメタン濃度変動の差異要因について, 古藤千寛 (指導教員: 山地)

【委員等】

- 日本風力エネルギー学会 代表委員 (大澤)
- 日本航海学会 論文審査委員 (大澤)
- 長崎海洋アカデミー 招聘講師 (大澤)
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術委員 (大澤)
- 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 「洋上風力基礎調査検討委員会」専門委員 (大澤)
- 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 外部専門委員 (大澤)
- NEDO 「洋上風況マップ改定に向けた仕様策定のための調査」(日本気象協会) 技術委員会委員 (大澤)
- NEDO 「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」(株式会社エイワット) 検討委員 (大澤)
- 環境省 有明海, 八代海等総合調査評価委員会委員 (林)
- 国土交通省 国立研究開発法人審議会委員 (林)
- 国土交通省近畿地方整備局 大阪湾再生行動計画 (第三期) 検討有識者会議委員 (林)
- 日本学術会議 環境学委員会地球惑星科学委員会合同 FE, WCRP 合同分科会 Future Earth Coasts 小委員会委員 (林)
- 日本海洋学会 評議委員, 同沿岸海洋研究会 運営委員, 「沿岸海洋研究」編集委員 (林)
- 日仏海洋学会 評議員, 幹事 (編集), 編集委員会委員 (林)
- 日本航海学会 英文論文審査委員会委員, 同海洋工学研究会 運営委員 (林)
- IPCC 第7次評価報告書 (AR7) サイクル, SLCF インベントリに関する 2027 年 IPCC 方法論報告書, Review Editor (山地)
- 日本学術会議小委員会 委員 (環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IGAC 小委員会) (山地)
- 第29回大気化学討論会, 大会実行委員長 (山地)
- 大気環境学会, 大気モデリング分科会幹事 (山地)
- 大気環境学会近畿支部, 運営幹事, 学術委員会, 気象拡散部会幹事 (山地)
- Asian Journal of Atmospheric Environment, Associate Editor (山地)
- Advances in Atmospheric Sciences, Editorial board, Editor (山地)
- 第12期京都府環境審議会委員 (山地)
- 京都府環境影響評価専門委員会委員 (山地)
- 環境省 PM_{2.5} インベントリ検討会 委員 (山地)
- ArCS II 北極域研究加速プロジェクト (山地)
- 総合地球環境学研究所 地球人間システムの連環プログラム Aakash プロジェクト (山地)

海洋安全工学

【委員等】

- ・ 日本航海学会 理事 (笹)
- ・ 日本航海学会 論文査読委員 (笹)
- ・ 日本船舶海洋工学会 会務委員 (笹)
- ・ 日本船舶海洋工学会 令和6年度春季講演会実行委員 (笹)
- ・ 日本学術振興会 科学研究費委員会 専門委員 (笹)
- ・ 関西海事教育アライアンス 運営委員 (笹)

放射線・粒子ビーム科学

【受賞】

- ・ 令和6年度自然科学系長賞 (金崎)

【委員等】

- ・ International Nuclear Track Society, Treasurer (金崎)
- ・ 第37回固体飛跡検出器研究会世話人 (金崎)
- ・ International Nuclear Track Society, President from 2023 (山内)
- ・ QST 課題採択・評価部会委員 (山内)
- ・ QST 加速器施設運営委員会 (山内)
- ・ 応用物理学会放射線分科会幹事 (山内)
- ・ 神戸市立シルバーカレッジ非常勤講師 (山内)
- ・ 日本原子力学会関西支部幹事 (谷池)
- ・ タンデム加速器及びその周辺技術の研究会世話人 (谷池)

海洋基礎科学

【受賞】

- ・ 日本数学会 函数方程式論分科会 第十六回 福原賞, 上田

【委員等】

- ・ 日本包装学会 理事 (蔵岡)
- ・ 日本包装学会 編集委員長 (蔵岡)
- ・ 日本セラミックス協会「ハイブリッド化による新材料開発を目指す会」世話人 (蔵岡)
- ・ 先端膜工学研究推進機構 理事 (蔵岡)
- ・ 東京大学大気海洋研究所 研究船共同利用運営委員会運航部会委員 (井尻)
- ・ 日本地球掘削科学コンソーシアム(J-DESC) IODP 部会科学推進専門部会部会長 (井尻)
- ・ 日本地球掘削科学コンソーシアム(J-DESC) IODP 部会執行委員会 (井尻)
- ・ JpGU ダイバーシティ推進委員会委員 (井尻)
- ・ Associate Editor of Journal of Ethology (岩田)
- ・ 日本バイオリギング研究会 幹事 (岩田)
- ・ Academic Editors of PLOS ONE (岩田)

以 上